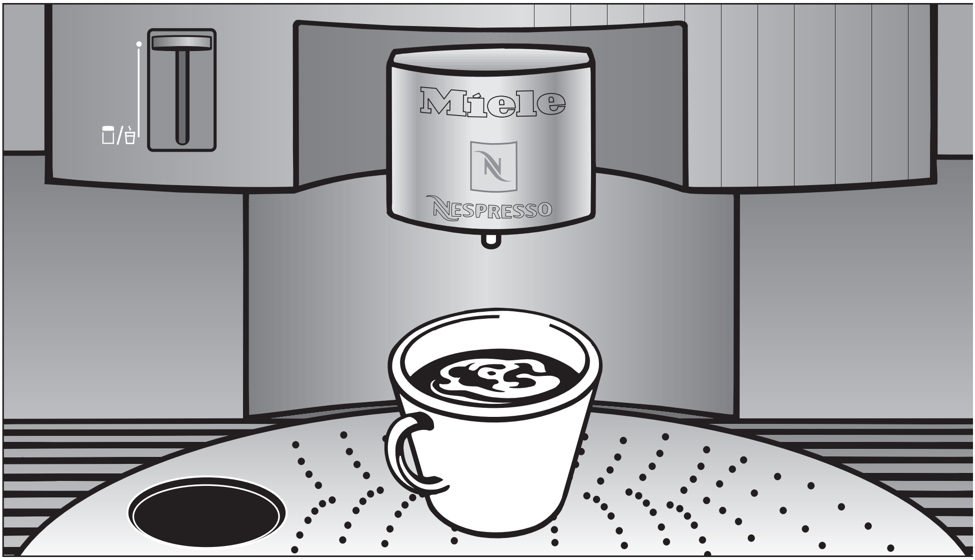
Miele

取扱説明書



ビルトインエスプレッソマシン
CVA 3660

ja - JP

お客様の安全を確保し、機器の損傷を避けるため、本製品を初めてご使用になる前には、**必ず**この取扱説明書をお読みください。

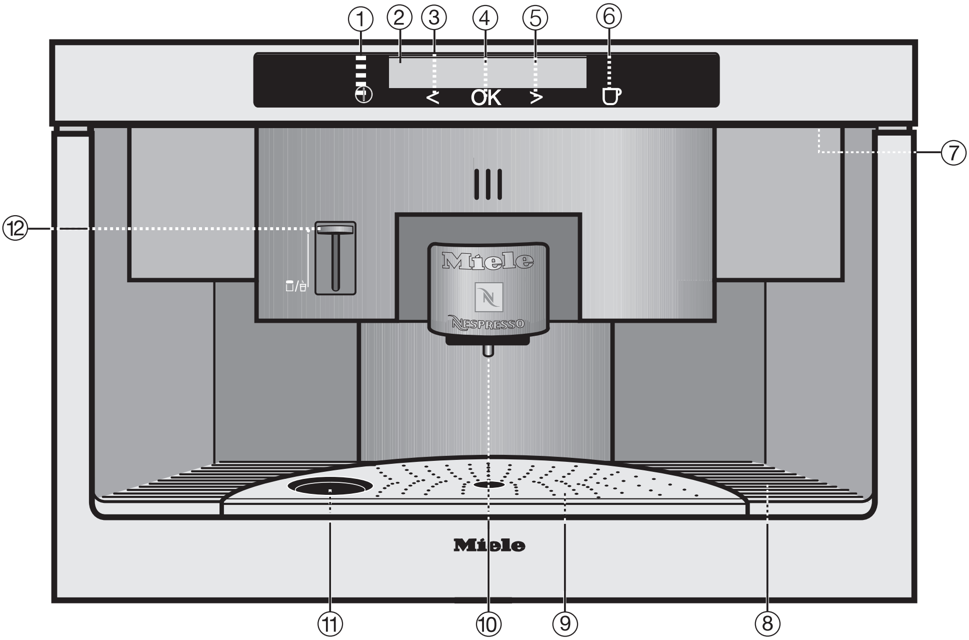
M.-Nr. 07 477 280

目次

目次

目次

外側



① 本製品の電源をオンまたはオフにするためのオン / オフセンサー

② ディスプレイ

③ 各種プログラムオプションをスクロールするための左矢印センサー

④ プログラムオプションの選択を確定し、設定を保存するための「OK」センサー

⑤ 各種プログラムオプションをスクロールするための右矢印センサー

⑥ コーヒーの種類（コーヒーまたはエスプレッソ）を選択するためのドリンク選択センサー

⑦ ドア取っ手

⑧ プラスチックグリル

⑨ メタルドリップトレイカバー

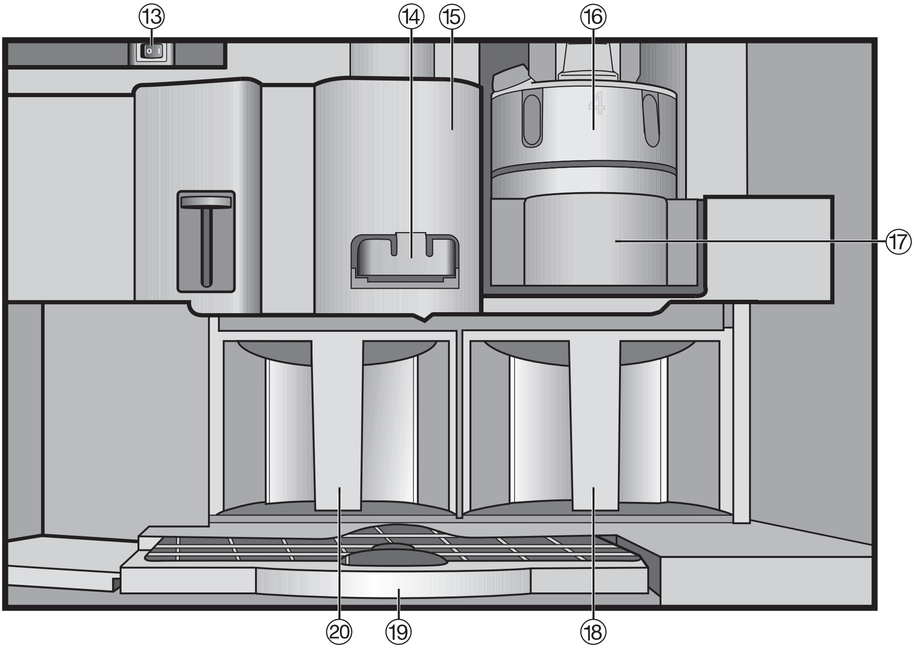
⑩ 抽出口

⑪ ミルクジャグ（ミルク泡立て器）設置ホルダー

⑫ お湯 / スチームバルブ切り替えレバー

各部の名称

内部



⑬　マスタースイッチ（主電源）

⑭　カプセルプレート（カルキ除去のときには付属のカルキ除去プレート（赤色）に交換）

⑮　抽出ユニット

⑯　カプセルマガジン

⑰　マガジン受け

⑱　水タンク

⑲　グリッド付きドリップトレイ

⑳　カラ受けコンテナ

梱包材の廃棄処分

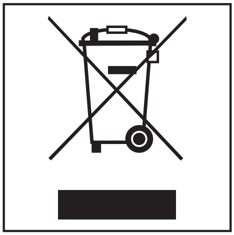
輸送時の保護用の詰物には、廃棄する際に環境への影響が少ない材質が使用されており、通常、リサイクルすることができます。

密閉フィルムやポリスチレンなどの梱包材やビニールシートは、赤ちゃんや小さなお子様の手の届かないようにしてください。窒息する恐れがあります。

梱包材は、できるだけ早急に廃棄するか、リサイクルしてください。これらの部材は通常のゴミとして廃棄せず、リサイクルに出してください。

使用済み機器の廃棄処分

電気および電子機器の中には、取り扱いや廃棄方法を誤ると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れのある物質が含まれていることがあります。ただし、このような物質は機器が正常に機能するために不可欠なものです。したがって、不要になった機器は家庭ゴミとしては出さないでください。



不要になった機器を廃棄する際には、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼するか、弊社販売店のアドバイスを受けてください。処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。
機器を主電源から外す作業は必ず有資格者が行ってください。

安全上のご注意

表示	表示の意味
警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院・長期の通院を要するものを言います。

■ 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例

禁　止（してはいけないこと）
具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。

強　制（必ずすること）
具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。

注　意（警告を含む）
具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

禁止行為	**潜在的な危険・警告・注意**
分解禁止	**感電注意**
水場、湿気の多い場所での使用禁止	**機器に損害を与える可能性のある場合**
接触禁止	**発火注意**
強制／指示	**高温注意**
電源接続に関する注意	**破裂注意**
必ずアース線を接続	

安全上のご注意

エスプレッソマシンは、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切な使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

⚠ 警　告

本製品は、関連するすべての法律上の安全要件を満たしています。ただし、本製品を不適切に使用した場合、人体への危害および物的損害をもたらすことがあります。

事故や製品の破損を防ぐために、本製品を初めてお使いになる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。本書には、本製品を正しく安全にお使いいただくための注意事項と、実際のご使用やお手入れに関する重要な情報が記載されています。

本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。

正しい使用方法

本製品は、業務用ではなく家庭用です。ご家庭での使用、またはそれに類似する以下の場所や居住環境での使用を想定しています。

- オフィス、ショールーム
- ホテル（客室での使用）、ゲストハウス

このような環境で本製品を使用する場合は、必ず家電機器として、（1日20杯までの）エスプレッソ、カプチーノ、コーヒーを作る目的でのみ使用してください。他の用途では使用しないでください。本製品の誤った使用法、または不適切な用途による損害や故障は、保証対象外となります。またこのために生じる被害や損害の製造責任は負いません。本製品は屋外で使用しないでください。

⚠ 警　告

お子様を含む、身体的、感覚的、または精神的に介護を要する方、操作経験のない方、操作方法を理解してない方が本製品を使用する場合は、安全にお使いなれるよう周囲の方が操作中に十分配慮するか、正しい操作方法を説明するようにしてください。

お子様の安全

警告：子供の皮膚は高温に対して非常に敏感です。コーヒーの噴き出しやミルクジャグはやけどを引き起こす恐れがあります。

本製品はお子様の手が届かないところに設置してください。

本製品にお子様を近づけないでください。本製品はおもちゃではありません。けがを防ぐために、本製品または操作パネルでお子様を遊ばせないでください。本製品を使用中は、お子様から目を離さないでください。

コーヒーやエスプレッソはお子様向けの飲み物でないことにご注意ください。

安全上のご注意

警　告

設置およびメンテナンス上の注意

本製品を設置する前に損傷がないかをチェックしてください。損傷がある場合は危険ですので、ご使用しないでください。けがをする恐れがあります。

本製品の損傷を未然に防止するために、本製品を主電源に接続する前に、銘板シールの表示が家庭用電源の電圧および周波数に適合しているか確認してください。不明な点がある場合には、電気工事の有資格者にご相談ください。

本製品の電気系統についての安全が保証されるためには、自治体および国の安全基準に準拠した接地を確実に実施する必要があります。これは製品を安全にお使いいただくための基本条件であり、この条件が満たされているかどうかを定期的にチェックすることが最も重要です。また、何か問題があった場合は、家屋の電気系統の点検を電気工事の有資格者に依頼する必要があります。

接地の不備に起因する損害および負傷 (感電など) については、保証対象外となり、製造者責任は負いません。

通電部品に手が届かないよう、本製品は必ず設置を完了してから使用を開始してください。

設置、修理、メンテナンス作業が完了するまで、本製品の電源を入れないでください。

警　告

本製品を、延長コードやタップで電源と接続しないでください。これらを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。過熱、発火、感電などの恐れがあります。

本製品を船舶等で使用しないでください。

移動ユニット (オプション) に設置した場合でも、屋外では使用しないでください。

本製品を扉付きの家具の中に設置する場合は、絶対に扉を閉めた状態で使用しないでください。また、本製品を使用中に、絶対にその家具の扉を閉めないでください。

本製品は、適切な資格を持つ専門技師による危険性評価で問題なしと判断された場合以外は移動が行われる環境下においての使用はできません。

設置と修理作業は、自治体および国の安全基準に従って、必ず適切な資格を持つ専門の技術者以外による修理およびその他の作業は危険です。この結果生じた損害については、製造元では一切責任を負いません。

警　告

本製品への電源供給は、次のいずれかの場合にのみ完全に遮断されます。

- メインヒューズを取り外す。
- ねじ込みヒューズを取り外す(該当する国のみ)。
- 壁コンセントのスイッチをオフにし、プラグを抜く。(コンセントからプラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持つこと)

ご自分で分解したり、修理／改造することは絶対にお止めください。無資格者が内部の電気接続部や電機部品、機械部品をいじると動作不良や感電の原因になることがあり、大変危険です。

本製品を別の製品の上に設置する場合は、両製品の間をすき間のない棚板で完全に仕切ってください(ミーレ製ビルトイン引き出し式食器入の使用時を除く)。

ゴキブリやその他の害虫が発生しやすい地域のある国では、本製品とその周辺を清潔な状態に保つように特に注意が必要です。ゴキブリやその他の害虫による損傷は、本製品の保証対象外となります。

警　告

使用上のご注意

警告：やけどの危険あり。非常に高温の液体が抽出されます。

本製品を安全にお使い頂くため、ご高齢の方や初めてご使用になる方は、事前にそうさに習熟した方から取扱指導を受けてください。

本製品は、大人だけがこの取扱説明書を読んだ上で操作することを前提としています。

本製品にはお子様が近づかないよう、ご注意ください。ご自分で使用する場合も、お子様の動きに注意してください。子どもの皮膚は高温に対して非常に敏感です。やけどをする恐れがあります。

本製品が電源に接続されているときには、抽出ユニットに手を入れないでください。ケガをする危険があります。

その日の最初の 1 杯を入れる前に、まず本製品の内部をすすぎ、スチームの噴出口とミルク泡立て器が完全に清潔な状態であることを確認してください。

水タンクには、必ず冷たい飲用水を注いでください。ぬるま湯やお湯またはその他の液体を使うと、本製品の損傷原因になることがあります。バクテリアの繁殖を防ぐため、水タンク内の水は毎日交換してください。

安全上のご注意

警　告

本製品には、絶対に逆浸透浄水器の水を使用しないでください。本製品が損傷することがあります。

カプセルマガジンには、絶対にネスプレッソ製コーヒーカプセル以外のものを使用しないでください。他メーカーのカプセルをセットすると、本製品が損傷することがあります。このような損傷は、保証対象外となります。

熱湯やスチームでやけどをする恐れがあります。熱湯やスチームを伴う機能を使うときには、十分に注意してください。高温のスチームや熱湯には触れないように注意してください。本製品は絶対に掃除の道具として使わないでください。

本製品をお手入れするときには、絶対にスチームクリーナーを使用しないでください。高圧スチームが電機部品にかかって、ショートの原因になる恐れがあります。

バクテリアの繁殖を防ぐため、本製品は毎日お手入れしてください。

付属のカルキ除去タブレットを使い、水の硬度に応じて、定期的にカルキを取り除いてください。水の硬度が高いほど、頻繁にカルキを取り除く必要があります。カルキ除去が十分でないために発生する損害については、製造元では一切責任を負いません。

警　告

必ずミーレ社指定のカルキ除去タブレットを使用し、パッケージに記載されている指示に慎重に従ってください。本製品の損傷を防止するため、必ず規定の用量を守ってください。

カプセルプレートの汚れ具合には、お使いになるコーヒーの脂肪含有量によって異なります。1～2か月に1回の割合で、洗浄剤を使ってカプセルプレートのお手入れをすることをお勧めします。

必ず完全な状態のコーヒーカプセルを使ってください。損傷、破損、またはへこみのあるコーヒーカプセルは使わないでください。このようなコーヒーカプセルを使うと、本製品に詰まって損傷の原因となることがあります。

エスプレッソマシンの抽出口の下には、火のついたアルコール飲料を絶対に置かないでください。炎によりプラスチック部品が溶けて、焼損する恐れがあります。

前面が開いているときには、絶対に前面にぶら下がったり、ものをぶら下げたりしないでください。本製品が損傷する恐れがあります。このような損傷は保証対象外になります。

⚠ 警　告

⊘ 本製品は、設置される室内の温度が15℃～60℃の範囲内である時に正常に作動するよう設計されています。室温が上記の範囲外である場合は、本製品を使用しないでください。

⊘ ステンレススペーサーを使用する場合のご注意（※ 日本でお取扱いがない場合がございます)
ふせんや透明の粘着テープ、マスキングテープなどをスペーサーの表面に使用しないでください。これらは表面にダメージを与え、汚れをはじくコーティングがはがれる原因となります。ステンレススペーサーの表面は傷がつきやすく、マグネットでさえも傷がつく原因となります。

⚠ 警　告

使用済み器具の廃棄処分

⚠ 不要になった製品を廃棄する場合は、電源スイッチをオフにして、コンセントからプラグを抜いてください。誤って使用されることがないよう、電源コードを本製品の根元から切断し、プラグを切断し、廃棄するまで保管中お子様への危険がないようにご注意ください。この作業は必ず有資格者が行ってください。

「安全上のご注意」の注意事項を守らなかったために発生した損害については、製造元では一切責任を負いません。

製品の概要

カプセルマガジンにはコーヒーカプセルを20個までセットできます。20個のコーヒーカプセルは5つのポケットに分けられます。すなわち、カプセルマガジンには**5 種類のコーヒー**をセットできます。5 種類のコーヒーは、本製品にプログラムされており、ディスプレイから選択できます。

好みの異なる複数のユーザーに合わせて、**標準プロフィールとは別に、特定の設定を 9 種類（ユーザープロフィール）までプログラムできます**。

使用済みの**コーヒーカプセル**は自動的にカラ受けコンテナに落ちるため、カプセルを毎回取り出す必要はありません。アルミ製のコーヒーカプセルは、一般的に燃えないゴミとして捨てることができますが、より正確なことについてはお住まいの自治体にお問い合わせください。

カップに正確な量が注がれるよう、カップのサイズをプログラムできます。**プログラムされているサイズ**よりも小さいカップを使用する場合は、「OK」センサーを押すと、いつでも抽出を止めることができます。

2 杯分のコーヒーまたはエスプレッソを入れる場合は、ディスプレイで「**ダブル（2 杯分）?**」を選択できます。「**ダブル（2 杯分）?**」を選択すると、1 杯分の量が 2 回連続して注がれます。

お子様による操作を防止するため、本製品には**システムロック機能**が備わっています。

使いやすい**プログラミング機能**により、ディスプレイに表示される言語を変更したり、水の硬度をプログラムできます。

本製品は**スタンバイモード**に切り替わるようプログラムできます。スタンバイモードにしておけば、すぐに操作を始められる状態で、無駄な電力の消費を防げます。スタンバイモードへの切り替え時間は、最後にコーヒーが注がれてから 15 分～ 9 時間の範囲でプログラムできます。正しく機能させるには、時刻を正確に合わせることが大切です。

毎日、特定時刻に**オン / オフ**が切り替わるようプログラムすることもできます。

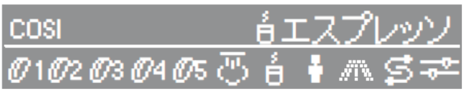
操作部の基本的なはたらきを以下に説明します。お使いになる前によくお読みください。

各種コントロール（タッチセンサー式）

本製品には、触れると反応するセンサーコントロールが備わっています。関連するセンサーを押すだけで本製品の操作が可能です。センサーの種類は以下の 5 種類です。

- ⏻　本製品の電源をオンまたはオフにするためのオン / オフセンサー
- <　各種プログラムオプションをスクロールするための左矢印
- OK　プログラムオプションの選択を確定し、設定を保存するための「OK」センサー
- >　各種プログラムオプションをスクロールするための右矢印
- ドリンク選択センサー（コーヒーまたはエスプレッソ）

ディスプレイ



ディスプレイには、以下のような基本項目が表示されます。

- ドリンクの選択：コーヒー（5 種類まで）、スチーム、お湯
- ユーザープロフィール（9 人まで登録可能）
- 重要なメンテナンスプログラム：すすぎ とカルキ除去
- 設定項目の選択（本製品のカスタマイズ）

■ 矢印センサーは、ディスプレイ上のプログラムオプションを選択するために使用します。目的のオプションがディスプレイで強調表示されたら、「OK」センサーを押します。

このディスプレイにより、本製品を容易にお使いいただけるようになっています。

初めてお使いになる前に

> 初めてお使いになる前に、本製品を正しく設置し、電源を接続しておく必要があります（「電源接続」および「設置」を参照）。
>
> 本製品の前面から保護用ホイルを取り外してください。

電源をオンにする

■ 本製品の電源をオンにするには、オン / オフセンサー⏻ を押します。

本製品の電源をマスタースイッチ（主電源）でオンにしたとき、最初の数回は、「Welcome」画面とその他のメッセージが表示されます。5 人分のドリンクが作られるまで、本製品の電源をオンにするたびに「Welcome」画面が表示されます。



エスプレッソマシンの使い方 - 最初のステップ

本製品を**初めて**使用する場合に限り、「Welcome」画面の次に、**言語**の選択を促すメッセージが表示されます。通常は、「Welcome」画面の次には時刻が表示されます。

- 目的の言語がディスプレイに表示されるまで、右または左矢印センサーを押します。
- 「OK」センサーを押します。

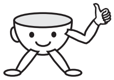
これで選択した言語が設定されました。

次に、**時間表記**の設定を促すメッセージが表示されます。

- 目的の時間表記（12 時間表記または 24 時間表記）が強調表示されるまで、いずれかの矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- **時刻**を合わせます。まず、矢印センサーで時間を合わせ、「OK」センサーを押します。次に、同様の方法で分を合わせます。
- 次に、**時刻を表示する期間**を決めます。「**オン**」を選択した場合、ディスプレイに常に時刻が表示されます（本製品の電源がオフのときにも表示されます）。「**60 秒間オン**」を選択した場合、本製品の電源をオフにしてから 60 秒間は時刻が表示されていますが、その後は消えます。「**表示なし**」を選択した場合、本製品の電源がオンのときにのみ時刻が表示され、オフにすると消えます。

すべての項目を正しく設定すると、ディスプレイに「**設定**」と表示されます。

- このメッセージを確認したら、「OK」センサーを押します。



本製品の性能を最大限に発揮させ、お好みに応じた設定を行うため、本書を最後までよくお読みください。本書を読み進めることで、本製品を最大限にご活用いただけるようになります。

電源をオフにする

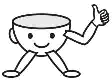
本製品の電源をオフにするには、以下の操作を行います。

- オン / オフセンサー ⓘ を押します。

コーヒーが抽出された場合は、電源がオフになる前にすすぎが自動的に行われます。

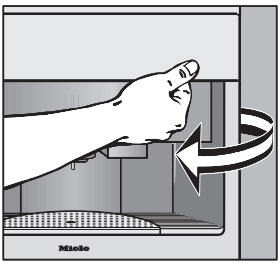
水を注ぐ前やコーヒーカプセルをセットする前には、必ず本製品を十分に掃除してください（「掃除とお手入れ」を参照）。
お使いになる水の硬度レベルをプログラムすることが非常に重要になります（「設定 : 水の硬度」を参照）。

水タンクに水を入れる

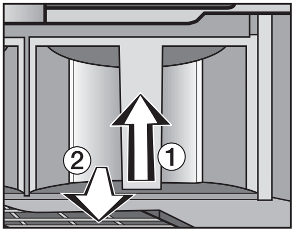


お使いになる水の水質は、コーヒーの全体的な品質に大きな影響を及ぼします。このため、水タンクに入れる水は、毎日新鮮な水道水と交換してください。

お湯やその他の液体を使うと、本製品の破損原因になる場合があります。お使いになる日に、必ず新鮮な冷たい水道水を入れてください。**ミネラルウォーターは絶対に使用しないでください**。ミネラルウォーターは、深刻なカルキ付着の原因となり、本製品損傷につながります。



- 本製品のドアを開きます。



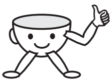
- 水タンクを①の方向に持ち上げ、手前②に引いて取り出します。
- 新鮮な冷たい水道水を水タンクの「Max.」位置まで入れます。

  水タンクの前部にあるバルブのはたらきにより、水の漏出を防ぐことができます。
- 水タンクを奥まで押し込んで、本製品にしっかりとセットします。

水の注入とコーヒーカプセルのセット

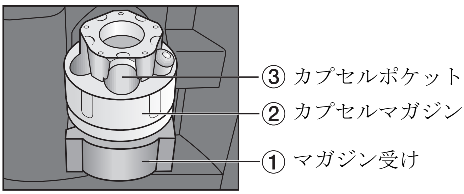
カプセルマガジンにカプセルをセットする

カプセルマガジンには、絶対にネスプレッソコーヒーカプセル以外のものを使用しないでください。
損傷、破損、へこみのあるコーヒーカプセルや端が折れ曲がったコーヒーカプセルは使用しないでください。本製品に詰まる恐れがあります。



カプセルマガジンには5つのポケットがあり、各ポケットにはカプセルを 4 つセットできます。ポケットを正しく割り当てることが大切です（「コーヒーカプセルの種類を割り当てる」を参照)。
1 種類のコーヒーのみをセットしたい場合は、すべてのポケットに同じ種類のカプセルをセットすることもできます。

工場出荷時の設定で、それぞれのポケットにはカプセル名が既に登録、割り当てられています。ポケットに適切な種類のコーヒーカプセルをセットするか、ポケットの割り当てを変更して別の種類のコーヒーカプセルをセットします（「コーヒーの種類の割り当てと保存」を参照)。これにより、お好みの種類のコーヒーを抽出できます。



■ マガジン受け①をいっぱいまで引き出します。

■ カプセルマガジン③のポケット②にカプセルをセットします。必ずアルミホイルの側を下向きにして正しくセットしてください。カプセルをセットする場合、カプセルマガジンは引き上げて取り出せます。

カプセルの詰まりを防ぐため、カプセルマガジン内のカプセルの間は余裕を持ってセットしてください。

■ カプセルマガジンを取り外した場合は、カプセルマガジンをマガジン受けにセットした後、マガジン受けを本製品に戻します。カプセルマガジンには特定の方向はありません。内部で所定の位置に自動的にセットされます。

■ マガジン受けを奥まで押し込んで、本製品にしっかりとセットします。

■ ドアを閉じます。

カプセルマガジンの位置が自動調整されます。このとき、作動音が聞こえます。

カプセルマガジンからカプセルを取り出す

マガジン内のカプセルを交換するには、以下の操作を行います。

■ マガジン受けを引き出します。

■ カプセルマガジンを引き上げて取り出します。

■ マガジンの下部にあるリングを押し上げて、下からカプセルを取り出します。

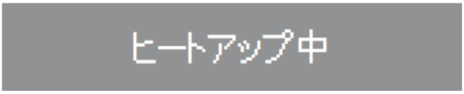
重要 : 給湯管のすすぎは毎日行い、最初の1 杯のコーヒーを入れる前に本製品を十分に掃除してください。

電源をオンにする

本製品の電源をオンにするには、以下の操作を行います。

- オン / オフセンサー ⓘ を押します。

次のメッセージが表示されます。



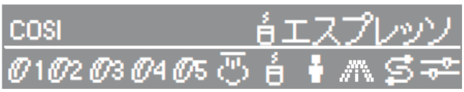
本製品が温まると、次のメッセージが表示されます。



抽出口から水が出ます。

カプセルマガジンが所定の位置にセットされる音が聞こえます。

ディスプレイにメインメニューが表示されます。



最初のドリンクを作る前に

システムに水を入れる

工場出荷時、本製品は完全に空の状態です。そのため、本製品でコーヒーまたはお湯を初めて作る前に、システム内に水を行き渡らせる必要があります。

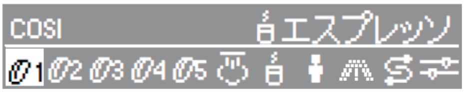


- いずれかの矢印センサーを使用して、「**お湯**」を選択します。
- 「OK」センサーを押します。
- カップにお湯を流し込みます。
- もう一度「OK」センサーを押し、水を止めます。

これで、システムが水で満たされ、本製品の使用準備が整いました。

エスプレッソまたはコーヒー

- 抽出口の下にカップを置きます。

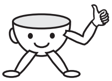


- いずれかの矢印センサーを使用して、コーヒーの種類を選択します。
- ドリンク選択センサーを使用して、エスプレッソまたはコーヒーを選択します。

  選択したコーヒーの種類が、ディスプレイ上段の右側に表示されます。

■ 「OK」センサーを 1 回押します。

選んだドリンクが抽出口からカップに注がれます。



お好みに応じて、エスプレッソとコーヒーの1杯分の抽出量をプログラムできます（「分量のプログラミング（1 杯分の量の設定）」を参照）。

ダブルポーション

2 杯分のコーヒーまたはエスプレッソを入れる場合は、以下の操作を行います。

■ ディスプレイに「**ダブル（2 杯分）?**」と表示されるまで待ち、もう一度「OK」センサーを押します。

ダブルエスプレッソまたはダブルコーヒーを選択した場合、1 杯分の量が **2 回連続して**注がれます。

中止する

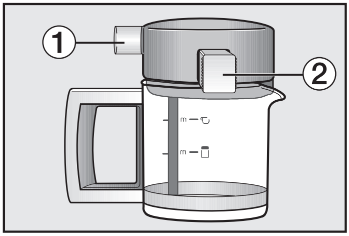
■ ディスプレイに「**終了**」と表示されたら、「OK」センサーを押します。

ドリンク作りが中止されます。

ホットミルク、フォームミルク、カプチーノ

本製品には、専用のミルクジャグ（ミルク泡立て器）が付属しており、ホットミルク、フォームミルク、カプチーノを簡単に作ることができます。

ミルクジャグは、初めてお使いになる前に、必ず適切な方法で洗ってください。食器洗い機を使用すると最も確実で簡単です（「掃除とお手入れ」を参照）。



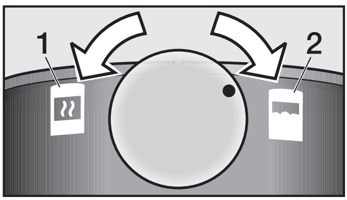
ミルクジャグ各部の名称

① ミルク泡立てダイヤル

② 泡抽出口

ミルクジャグは、必ずダイヤル①が取っ手の上に、抽出口②が側面に来るよう、正しくセットする必要があります。

ダイヤルの設定は以下の 2 通りです。

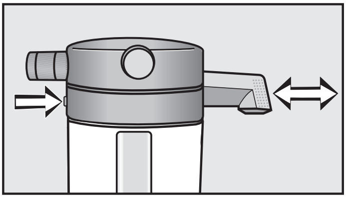


– ミルクを温めるには、反時計回りにいっぱいまで回します。

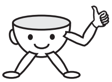
– ミルクを泡立てるには、時計回りにいっぱいまで回します。

> ⚠ と の間にダイヤルをセットすることは避けてください。ミルクが飛び散る原因になります。

ミルクは泡立ててからカップに直接注ぐことも、ミルクジャグでの加熱または泡立て後にカップに手動で注ぐこともできます。抽出口は、押し込み / 引き出し式です。



- **泡抽出口を押し込んだ場合**：ミルクは泡立てられてからカップに直接注がれます。
- **泡抽出口を引き出した場合**：ミルクはミルクジャグで泡立てられます。



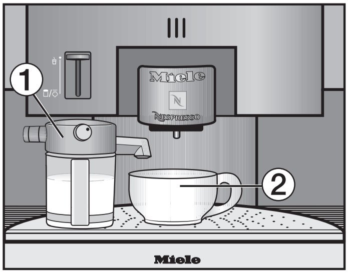
ミルクジャグでミルクを泡立てると、温かい泡ができあがります。

泡立てには、冷たいミルクが適しています。

> ⚠ ミルクと一緒に添加物を使用しないでください。砂糖を添加物として入れると、ミルクの配管が詰まり、本製品とミルクジャグが損傷する可能性があります。

> スチームの放出はタイマーで制御されます。カップに十分な泡が入っていないのに、スチームの放出が止まった場合は、スチームバルブを閉じてください。この後、もう一度スチームバルブを押し下げて、ミルクジャグに接続し直してください。

カップに泡を直接注ぐ - カプチーノ



- ■ 抽出口を奥までふたに押し込みます。
- ■ ミルクジャグのダイヤルを時計回りにいっぱいまで回します。
- ■ 冷たいミルクをミルクジャグ①の**上側**のマークまで注ぎ、ふたを元の位置に戻します。
- ■ ミルクジャグをドリップトレイの設置ホルダーにセットし、カプチーノカップをコーヒー抽出口②の下に置きます。
- ■ スチームバルブをゆっくり押し下げて、バルブをミルクジャグに接続します。

> スチームバルブをミルクジャグに正しく接続するには、スチームバルブをしっかり下まで下げて正しくセットする必要があります。

- ■ カップに十分の泡が注がれたら、スチームバルブを元の位置に押し上げます。

コーヒーを作る

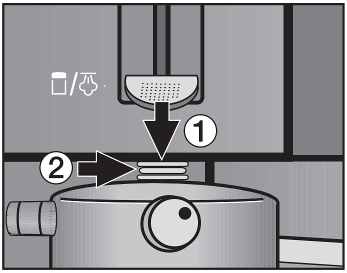
カプチーノ

■ ドリンク選択センサーを使用して、エスプレッソを選択します。

■「OK」センサーを **1 回**押します。

エスプレッソがコーヒー抽出口から注がれ、カプチーノのできあがりです。

ミルクジャグでのミルクの泡立て



■ 抽出口をいっぱいまでふたから引き出します。

■ ミルクジャグのダイヤルを時計回りにいっぱいまで回します。

■ 冷たいミルクをミルクジャグの**下側**のマークまで注ぎ、ふたを元の位置に戻します。

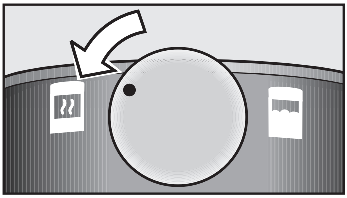
■ ミルクジャグをドリップトレイの設置ホルダーにセットします。

■ スチームバルブ①をゆっくり押し下げて、バルブをミルクジャグ②に接続します。

スチームバルブをミルクジャグに正しく接続するには、スチームバルブをしっかり下まで下げて正しくセットする必要があります。

■ 泡が十分になったら、スチームバルブを元の位置に押し上げます。

ホットミルク



■ ミルクジャグのダイヤルを反時計回りにいっぱいまで回します。

■ 冷たいミルクをミルクジャグの**上側**のマークまで注ぎ、ふたを元の位置に戻します。

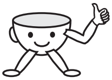
■ 泡抽出口をいっぱいまで押し込むか（ホットミルクを泡立ててからカップに注ぐ場合）、引き出し（ミルクジャグでホットミルクを泡立てる場合）、ミルクジャグをドリップトレイの設置ホルダーにセットします。

■ スチームバルブをゆっくり押し下げて、バルブをミルクジャグに接続します。



ミルクジャグでミルクを泡立てると、温かいミルクができあがります。

ミルクの泡立てが終わったら/一時的な洗浄



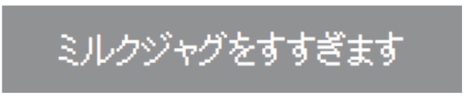
十分に洗浄する前にもう一度ミルクジャグを使用したい場合（例えば、ミルクジャグにミルクの残りが付着しているような場合）、本製品でふたをすすぐことができます。これにより、ミルクの付着が取り除かれます。

すすぎプログラムを実行したからといって、食器洗い機で十分に洗浄する必要がなくなるわけではありません。



- いずれかの矢印センサーを使用して、「**お手入れ**」を選択します。
- 「**ミルクジャグすすぎ**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- ミルクジャグの泡抽出口をいっぱいまで押し込み、その下に空のカップを置きます。
- スチームバルブをゆっくり押し下げて、バルブをミルクジャグに接続します。

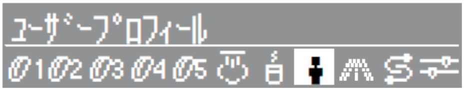
お湯がふたの中に流し込まれ、簡単にすすがれます。以下のメッセージがディスプレイに表示されます。



すすぎ工程は自動的に終了します。

ユーザープロフィール別のドリンク

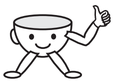
本製品が特定のユーザープロフィールに合わせて設定されている場合は（「ユーザープロフィールの設定」を参照）、まずユーザープロフィールとドリンクの種類を選ぶ必要があります。



- いずれかの矢印センサーを使用して、「**ユーザープロフィール**」を選びます。
- いずれかの矢印センサーを使用して「**選択**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- いずれかの矢印センサーを使用して目的のユーザープロフィールを選択し、「OK」センサーを押します。

ディスプレイ上段のユーザープロフィールマーク の近くに番号が表示されます。この番号は、ユーザープロフィールが選択されていることを示します。

ミルクの泡立てが終わったら



本製品の電源をオフにする前に、必ずすすぎとスチームバルブの洗浄をしてください。

コーヒーが抽出された場合は、電源がオフになる前にすすぎが自動的に行われます。適切な容器を、コーヒー抽出口とスチームバルブの下に置いてください。

手動でも、すすぎを行うことができます（「掃除とお手入れ」を参照）。

設定 : 本製品のカスタマイズ

本製品は、お好みに合わせて簡単にカスタマイズできます。各種プログラムオプションを選択するには、以下の操作を行います。



- ■ いずれかの矢印センサーを使用して「**設定**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- ■ 目的のオプションが強調表示されるまで、いずれかの矢印センサーを押します。
- ■ 強調表示されたオプションを選択するには、「OK」センサーを押します。

「設定」メニューには、以下のオプションが用意されています。

言語 :25ヶ国語から選択できます。

現在時刻 : 24 時間表記または 12 時間表記のいずれかを設定できます。時刻の表示はオン / オフを切り替えることができます。

タイマー: タイマーを有効にすることができます。設定の調整も可能です。「設定」メニューには、以下のオプションが用意されています。

– **指定時刻にオン :** 指定の時刻に電源がオンになるように設定できます。

– **オフまでの時間 :** あらかじめ設定した時間が経過すると電源がオフになるように設定できます。設定できる時間は 15 分～ 9 時間です。

– **指定時刻にオフ :** 指定の時刻に電源がオフになるように設定できます。

カプセルの設定 : カプセルポケット 1 ～ 5 に対して「カプセルの選択」と「カプセル名入力」を選択できます。カプセルポケットにコーヒーの種類がすでに割り当てられている場合は、「カプセル名変更」と「カプセル名削除」も表示されます（「コーヒーの種類の割り当てと保存」を参照）。

水量設定 : エスプレッソ、コーヒー、お湯（「1 杯分の量の設定（分量のプログラミング）」を参照）

スチーム加熱 : オン、オフ

照明 : 明るさ（明 / 暗）

抽出済杯数 : 抽出杯数、カルキ除去までの抽出可能杯数

安全性 : 操作ロック

水硬度 : 軟水 1、軟水 2、硬水 3、硬水 4

ディスプレイ画面 : コントラスト、照度

音量レベル : アラーム音、操作音

メンテナンス : 実行（「掃除とお手入れ」を参照）

デモンストレーション : デモモード、オフ

出荷時設定 : 全設定（すべての設定を工場出荷時の初期設定にリセット）、ユーザープロフィールリセット

言語を選ぶ

ディスプレイで使用する言語を変更するには、「**設定**」メニューを使用して、旗マークに従います。

■ 「**設定**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。

ディスプレイでは、「**言語**」が最初から強調表示されています。

■ 「OK」センサーを押します。

■ 目的の言語が表示されるまで、いずれかの矢印センサーを押します。

現在選択されている言語にはチェックマークが付いています。

■ 目的の言語を選択するには、「OK」センサーを押します。

設定が自動的に保存され、ディスプレイは前の画面に戻ります。

これ以降、ディスプレイに表示されるメッセージには、ここで選んだ言語が使われます。

時刻

■ 「**設定**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。

■ 「**現在時刻**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。

時間表記

矢印センサーを使用して、時刻の表示形式を 24 時間表記または 12 時間表記に設定できます。

現在設定されているオプションにはチェックマークが付いています。

■ 「OK」センサーを押します。

時間表記の設定が保存されます。

時刻を合わせる

■ 矢印センサーを使用して、「**設定**」を選択します。

■ まず、いずれかの矢印センサーを使用して、時間を合わせます。「OK」センサーを押します。

■ 矢印センサーを使用して、分を合わせます。「OK」センサーを押します。

設定した時刻がメモリに保存されます。

設定：本製品のカスタマイズ

ディスプレイ

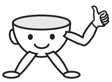
時刻の表示はオン/オフを切り替えることができます。

「**オン**」を選択した場合、ディスプレイには常に**時刻**が表示されます（本製品の電源がオフのときにも表示されます)。「**表示なし**」を選択した場合、本製品の電源をオフにするとすぐにディスプレイの時刻表示が消えます。

「**60 秒間オン**」を選択した場合、本製品の電源をオフにしてから約 60 秒後にディスプレイの時刻表示が消えます。

現在設定されているオプションにはチェックマークが付いています。

選択した設定内容を確定するには、「OK」センサーを押します。



メインメニューに戻るには、矢印センサーで「**戻る**」を選択し、「OK」センサーを押します。

電源をオフにしている時でも現在時刻とディスプレイのオプションは変えることができます。以下のように行います。

- 電源がオフになっている時に「OK」センサーを押します。
- 「**現在時刻**」を選択し、「OK」センサーを押します。

ここで「**ディスプレイ**」もしくは「**設定**」を選択し、必要に応じて変更します。

- 「OK」センサーを押すと設定が保存されます。

タイマーのセット

- 「**設定**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- 「**タイマー**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- 矢印センサーを使用して「**設定**」を選択し、「OK」センサーを押します。

以下の 3 つのオプションがあります。

指定時刻にオン：

朝食の時間など特定の時刻に合わせて、電源が自動的にオンになるように設定できます。

- 矢印センサーを使用して「**指定時刻にオン**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- まず、いずれかの矢印センサーを使用して、時間を合わせます。「OK」センサーを押します。
- 矢印センサーを使用して、分を合わせます。「OK」センサーを押します。

タイマーを有効にすると、毎日、指定時刻に電源がオンになります（「タイマーのセット：実行」を参照)。

なお、システムロックを有効にしている場合は、所定の時刻になっても電源はオンになりません。

電源が自動的にオンになり、その間にドリンクもお湯も抽出されない状況が3回続くと、自動電源オン機能が停止します。ただし、プログラムされている時刻はメモリに残っているため、次に電源を手動でオンにした後は、再び設定が有効になります。これにより、不在時（休暇など）に自動電源オン機能を取り消さなくても、電源が無駄にオンになることはありません。

オフまでの時間：

未使用時の無駄な電力消費を防ぐため、電源が自動的にオフになるように設定できます。この場合、「**オフまでの時間**」オプションを使用します。設定できる時間は 15 分～9 時間です。この時間は、ドリンクが最後に抽出された時刻から計算されます。

- 矢印センサーを使用して「**オフまでの時間**」を選択し、「OK」センサーを押します。

例えば、「1:00」は 1 時間後に電源がオフになることを意味します。

- まず、いずれかの矢印センサーを使用して、時間を合わせます。「OK」センサーを押します。
- いずれかの矢印センサーを使用して、分を合わせます。「OK」センサーを押します。

これで、設定した時間が経過すると、電源がオフになります。

指定時刻にオフ：

毎日同じ時刻に使用する場合、指定時刻に電源が自動的にオフになるように設定できます。

- 矢印センサーを使用して「**指定時刻にオフ**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- まず、いずれかの矢印センサーを使用して、時間を合わせます。「OK」センサーを押します。
- 矢印センサーを使用して、分を合わせます。「OK」センサーを押します。

タイマーを有効にすると、毎日、指定時刻に電源がオンになります（「タイマーのセット：実行」を参照）。

実行

いずれかの矢印センサーで「**実行**」を選択し、「OK」センサーを押して設定内容を確定すると、ディスプレイに「**指定時刻にオン**」と「**指定時刻にオフ**」オプションが表示されます。

オプションを有効（チェックマークが付く）または無効（チェックマークなし）にするには、矢印センサーで目的のオプションを選択し、「OK」センサーを押します。

- いずれかの矢印センサーを使用して「**設定**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- いずれかの矢印センサーを使用して「**戻る**」を選択し、「OK」センサーを押します。

設定：本製品のカスタマイズ

スチームシステム

> スチームシステムがオフになっているときにスチームバルブを操作した場合、本製品内部の温度が上がるまでスチームは作られません。
> 本製品の電源がオンになっている限り、スチーム加熱システムは常に作動しています。

- 「**設定**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- 「**スチーム加熱**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、
「OK」センサーを押します。
- いずれかの矢印センサーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択し、「OK」センサーを押します。

  現在の設定にはチェックマークが付いています。

照明：明るさの設定

本製品照明の明るさを設定できます。

- 「**設定**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- 「**照明**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- 「**明度**」を選択します。
- いずれかの矢印センサーを押して明 / 暗の設定を選択し、「OK」センサーを押します。

小さい白のバーが表示されなくなるまで**左**の矢印センサーを押すと、照明が**オフ**になります。

照明：自動オフの設定

本製品の電源が入ると照明が点灯します。動作が行われずに 15 分経つと省電力のために照明はオフになります。

照明は本製品の電源をオフにしたあとも点灯させつづけることができます。

その際、動作が一定時間行われないと照明は自動的に消灯します。

照明の点灯時間は 15 分～ 6 時間内で設定することができます。

- 本製品の電源を切ります。
- 本製品がオフの状態で「OK」センサーを押します。
- 「**照明**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- 「**OFF までの時間**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- 矢印センサーで希望の時間を選択し、「OK」センサーを押します。
- 「**明度**」を選択して「OK」センサーを押します。
- いずれかの矢印キーを押して明／暗の設定を選択し、「OK」センサーを押して設定を保存します。
- 「**戻る**」を選択して「OK」センサーを押します。

設定された時間が経過したら、照明は自動的に消灯します。

電源をオフにした後、照明を点灯させたくない場合は以下のように行います。(工場出荷時設定)

- 電源がオフになっている時、「OK」センサーを押します。

■ **「照明」**を選択し、**「OK」**センサーを押します。

■ **「明度」**を選択し、**「OK」**センサーを押します。

■ 小さい白のバーが表示されなくなるまで、**左**の矢印センサーを押します。

■ **「戻る」**を 2 回押し、メニューを閉じます。

抽出済杯数：抽出杯数、カルキ除去までの抽出可能杯数

「**抽出済杯数**」を選ぶと、これまでに抽出されたドリンク（エスプレッソ、コーヒー、お湯、スチーム）の杯数が表示されます。

■ 「**設定**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。

■ 「**抽出済杯数**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。

以下のオプションが表示されます。

– 何杯のコーヒーが抽出されたか **（コーヒーの合計杯数）**

– 何杯の**コーヒー**、**エスプレッソ**、**お湯**、**スチーム**が抽出されたか

– あと何杯のドリンクを作ったら本製品のカルキ除去を行う必要があるか **（カルキ除去までの杯数）**

■ 矢印センサーを使用していずれかのオプションを選択し、「OK」センサーを押します。

■ メニューを閉じるには、「OK」センサーを押します。

安全性（操作ロック）

保護者が付き添っていないお子様や、本製品の取り扱いに不慣れなユーザーによる操作を防止するため、本製品はロックできます。

本製品をロックすると、タイマーの「指定時刻にオン」設定は機能しません。

システムロックを有効にする

■ 矢印センサーを使用して「**設定**」を選択し、「OK」センサーを押します。

■ 矢印センサーを使用して「**安全性**」を選択し、「OK」センサーを押します。

■ 矢印センサーを使用して「**操作ロック**」を選択し、「OK」センサーを押します。

システムロックが有効か無効かを示すチェックマークが表示されます。

■ 矢印センサーを使用して「**オン**」を選択し、「OK」センサーを押します。

■ システムロックを有効にしたことを示すメッセージがディスプレイに表示されます。メッセージを確認したら、「OK」センサーを押します。

電源をオフにすると同時に本製品がロックされます。この状態では、電源を再びオンにすることはできません。ディスプレイには、鍵のかかった南京錠のマーク  が表示されます。

システムロックを解除する

- 約3秒間､｢OK｣センサーを押します｡ディスプレイに「**ヒートアップ中**」と表示されます。

ロックが解除され、再びドリンクを作れるようになります。

ただし、電源をオフにすると、本製品は再びロックされます。システムロックを取り消すには、以下の操作を行います。

- 矢印センサーを使用して「**設定**」を選択し､「OK」センサーを押します。
- 矢印センサーを使用して「**安全性**」を選択し､「OK」センサーを押します。
- 矢印センサーを使用して「**操作ロック**」を選択し､「OK」センサーを押します。
- 矢印センサーを使用して「**オフ**」を選択し､「OK」センサーを押します。

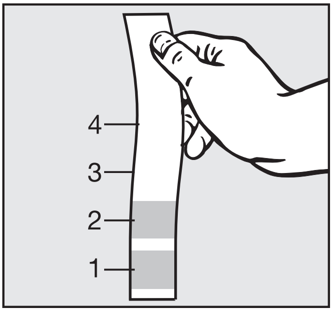
これでシステムロックが解除されます。

水の硬度を設定する

本製品の故障を未然に防ぎ、カルキ除去のメッセージが適切なタイミングで表示されるよう、水の硬度をプログラムすることが大切です。水の硬度は水中に含まれるカルシウム量を表します。カルシウム含有量が多いほど水の硬度が高くなり、水の硬度が高いほどカルキ除去を頻繁に行う必要があります。

本製品で使用した水の量（スチームの生成に必要な量も含む）は自動的に測定されます。カルキ除去が必要になるまでに使用できる水の量は、水の硬度の設定に応じて異なります。軟水地域と比べ、硬水地域では少ない使用量でカルキ除去が必要になります。

お住まいの地域の水の硬度については、水道局にお問い合わせください。また、同封の水硬度チェッカーを用いて、以下の手順で水の硬度を測定できます。



- 水硬度チェッカーを本製品に使用する水道水に約 1 秒間浸します。次に、水から取り出して、余分な水を振り払います。約 1 分後に結果がわかります。

水の硬度が高い場合は、軟水よりも早くカルキが付着します。この場合、カルキによる損傷を防ぐため、通常よりも短い周期で定期的にカルキ除去を行う必要があります。

お使いの水の硬度をプログラムするには、「**水硬度**」オプションを使用します。

硬度には以下の 4 つのレベルを設定できます。

レベル（本製品）	**硬度**（地域の水道水）	**°d**	**mmol/l**	**カルキ除去の水量のめやす（リットル）**
硬度 1	軟水 1	0 - 3	0 - 0.6	約 200
硬度 2	軟水 1	4 - 7	0.7 - 1.3	約 130
硬度 3	軟水 2	7 - 14	1.3 - 2.5	約 90
硬度 4	硬水 3 硬水 4	14 - 21 21 超過	2.5 - 3.8 3.8 超過	約 60

- 「**設定**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- 「**水硬度**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- いずれかの矢印センサーを押して水の硬度を設定し、「OK」センサーを押します。

  現在の設定にはチェックマークが付いています。

ディスプレイ画面

ディスプレイのコントラストと明るさを調整できます。

- 「**設定**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- 「**ディスプレイ画面**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- いずれかの矢印センサーを押して「**コントラスト**」または「**照度**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- いずれかの矢印センサーを押して、コントラストの高 / 低または明るさの明 / 暗を設定します。
- 「OK」センサーを押して、設定を保存します。

音量レベル

センサーを押すたびにキーパッド音を鳴らすかどうかを選択して、そのボリュームを調整できます。

また、ブザー音（例えば、水タンクが空になった場合）の有無とそのボリュームも選択できます。

- 「**設定**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- 「**音量レベル**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。
- いずれかのセンサーを押して「**アラーム音**」または「**操作音**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- いずれかの矢印センサーを押して、ボリュームの高 / 低を設定します。

小さい白のバーが表示されなくなるまで**左に**移動すると、キーパッド音またはブザー音は**無効**になります。

■ 「OK」センサーを押して、設定を保存します。

出荷時設定

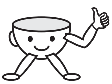
「出荷時設定」オプションでは、必要に応じて、**すべての設定**（タイマー、スチームシステム、照明、システムロック、水の硬度、ディスプレイ、直近に選択したコーヒーの種類、すべての標準ユーザープロフィール設定）を工場出荷時の初期設定にリセットしたり、**ユーザープロフィール**を削除したりすることができます。

■ 矢印センサーを使用していずれかのオプションを選択し、「OK」センサーを押します。

■ 矢印センサーを使用して「**リセット**」を選択し、「OK」センサーを押します。

ディスプレイに、すべての設定またはユーザープロフィールを工場出荷時の初期設定にリセットしたことを示すメッセージが表示されます。

■ このメッセージを確認したら、「OK」センサーを押します。



間違えて「リセット」を選択した場合、本製品の電源をオフにしてください。工場出荷時の初期設定へのリセットは実行されません。

工場出荷時の初期設定（本製品は以下の設定で出荷されます）

– スチームシステム（「**オン**」）
– 時刻の表示（「**60 秒間オン**」）、時間表記（「24 h」）、タイマー - 指定時刻にオン（「12:00」）、オフまでの時間（「1:00」）、指定時刻にオフ（「12:00」）（「**指定時刻にオン**」と「**指定時刻にオフ**」は両方とも無効化）
– 照明 - 照度（中）
– 安全性 - 操作ロック（「**オフ**」）
– 水硬度（「**硬水 4**」）
– ディスプレイ画面 - コントラスト（中）、照度（最大）
– ブザー音とキーパッド音のボリューム（両方とも最大）
– ユーザープロフィール - 切換え（「**オンの状態で**」）
– カプセルの設定（コーヒー）：
  ポケット 1 = Volluto
  ポケット 2 = Arpeggio
  ポケット 3 = Cosi
  ポケット 4 = Roma
  ポケット 5 = Decaffeinato

本製品では、16 種類のネスプレッソコーヒーを使用できます（その他の種類も特別に使用できる場合があります）。16 種類のコーヒーはそれぞれ酸味、アロマ、苦味のバランスや焙煎方法が異なります。

コーヒーカプセルの種類をカプセルポケットに割り当てる「カプセルの設定」

本製品には、お好みに合わせて 5 種類のカプセルをセットできます。内部のカプセルマガジンには 5 つのカプセルポケットがあります。カプセルは必ず正しいポケットにセットしてください。1 種類のコーヒーのみをセットしたい場合は、すべてのポケットに同じ種類のカプセルをセットすることもできます。

ディスプレイ上のカプセルポケット記号

カプセルポケットにコーヒーの種類が割り当てられている場合、メインメニューのポケット番号の前にコーヒー豆マークが表示されます。いずれかの矢印センサーで特定のポケットを選択すると、ディスプレイ上段にポケット内のコーヒーの種類が表示されます。

ポケットが空の場合、コーヒー豆マークの後に**警告を示す三角形** ⚠ が表示されます。

ポケットにコーヒーの種類が割り当てられていない場合、ポケットにカプセルがセットされているかポケットが空かにかかわらず、コーヒー豆マークの後に**クエスチョンマーク**が表示されます。ポケットを選択すると、ディスプレイ上段に「**ポケットが空です**」と表示され、そのポケットからはコーヒーを抽出できません。

コーヒーの種類の割り当て方法



■ が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。

■ 「**カプセルの設定**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。

■ 矢印センサーを使用していずれかのポケット（例えば、「**カプセルポケット 1**」）を選択し、「OK」センサーを押します。

数種類のコーヒー名が工場出荷時にすでに登録されています。この後、以下の操作を行うことができます。

– **カプセルの選択：**すでに割り当てられているコーヒーの種類を選択します。
– **カプセル名入力 ：** 新しい種類のコーヒーを登録します。

既存の種類とは別に、新しい種類のコーヒーをすでに登録している場合は、以下のオプションも表示されます。

– **カプセル名変更**
– **カプセル名削除**

本製品からカプセルマガジンを取り出して、各ポケットに実際にセットされているカプセルの種類を確認することをお奨めします。

カプセルの選択

■ 矢印センサーを使用して、選択したポケットに割り当てるコーヒーの種類を選択し、「OK」センサーを押します。

コーヒーの種類の割り当てと保存

カプセル名入力

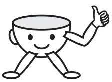
ご自分で好きなコーヒー名（カプセル名）を**最大 10 種類**まで追加で独自に入力することができます。10 種類より多くのコーヒーを割り当てようとすると、ディスプレイに「**メモリーが足りません**」と表示されます。この場合、容量確保のため、コーヒーを 1 種類削除する必要があります。

コーヒーの種類を割り当てるとすぐに、任意のポケットでその種類のカプセルを使用できるようになります。割り当て処理で「カプセルポケット 1」プログラムオプションを選択していた場合などでも同様です。

「**カプセル名入力**」オプションを選択し、「OK」センサーで選択を確定すると、ディスプレイに一部のアルファベットが表示されます。右矢印センサーを押すと、アルファベットの残りの文字と 0 ～ 9 の数字が表示されます。

■ 矢印センサーを使用して目的の文字を選択し、「OK」センサーで確定します。

選択した文字がディスプレイ上段に表示されます。



間違えた場合、矢印センサーを使用してごみ箱マークを選択し、「OK」センサーを押します。最後の文字が削除されます。

入力内容を保存する

■ 入力が終わったら、矢印センサーを使用してディスプレイから「OK」を選択し、「OK」センサーを押します。

選択していたポケットのメニューがディスプレイに表示されます。

このメニューを閉じるには、以下の操作を行います。

■ 矢印センサーを使用して「**戻る** ⮐」を選択し、「OK」センサーを押します。

入力内容を保存しない

入力内容を保存しない場合、以下の操作を行います。

■ 矢印センサーを使用して「**戻る** ⮐」を選択し、「OK」センサーを押します。

カプセル名変更

「**カプセル名変更**」オプションを選択し、「OK」センサーで選択を確定すると、変更したいコーヒーの種類を選択できるようになります。「OK」センサーを押して、種類を変更します。

この後は、「**カプセル名入力**」の手順に従ってください。

– 文字を削除するには、ごみ箱マークを選択します。

– 新しい文字を入力するには、文字を選択し、「OK」センサーで確定します。

– 新しい名称を保存するには、ディスプレイで「OK」を選択し、「OK」センサーを押します。

カプセル名削除

コーヒーの種類を完全に削除するには、以下の操作を行います。

■「**カプセル名削除**」オプションを選択し、「OK」センサーで選択を確定します。

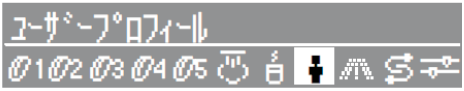
■ 矢印センサーを使用して、削除するコーヒーの種類を選択します。

■「OK」センサーを押します。

コーヒーの種類の後にチェックマークが表示され、少し待つとその種類のコーヒーが削除されます。

ユーザープロフィールの設定

好みの異なる複数のユーザーに合わせて、(標準プロフィールとは別に）最大 9 種類のユーザープロフィールを登録することができます。また、ユーザープロフィールごとに 1 杯分の量を変えることもできます（「分量のプログラミング（1 杯分の量の設定）」を参照)。



■ 「**ユーザープロフィール**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。

この後、以下の操作を行うことができます。

– **ユーザープロフィールの選択**：すでに割り当てられているユーザープロフィールを選択します。

– **ユーザープロフィールの設定**：新しいユーザープロフィールを登録します。

標準ユーザープロフィールとは別に、新しいユーザープロフィールをすでに登録している場合は、以下のオプションも表示されます。

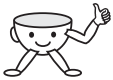
– **ユーザープロフィールの変更** ： ユーザープロフィールを変更します。

– **ユーザープロフィールの削除** ： ユーザープロフィールを削除します。

– **切換え：常に標準ユーザープロフィールに戻したり、設定したユーザープロフィールが引き続き使用されるようにプログラムすることができます。**

ユーザープロフィールの選択

■ 矢印センサーを使用して目的のユーザープロフィールを選択し、「OK」センサーを押します。



ディスプレイ上段のユーザープロフィールマーク の近くに番号が表示されます。この番号は、選択されているユーザープロフィールを示します。

ユーザープロフィールの設定

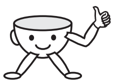
■ 矢印センサーを使用して「**設定**」を選択し、「OK」センサーを押します。

ユーザープロフィールは**9種類まで**割り当てることができます。
9 種類より多くのユーザープロフィールを割り当てようとすると、ディスプレイに**「メモリーが足りません」**と表示されます。この場合、容量確保のため、ユーザープロフィールを 1 つ削除する必要があります。

ディスプレイに一部のアルファベットが表示されます。右矢印センサーを押すと、アルファベットの残りの文字と 0 ～ 9 の数字が表示されます。

■ 矢印センサーを使用して目的の文字を選択し、「OK」センサーで確定します。

選択した文字がディスプレイ上段に表示されます。



間違えた場合、矢印センサーを使用してごみ箱マークを選択し、「OK」センサーを押します。最後の文字が削除されます。

入力内容を保存する

■ 入力が終わったら、矢印センサーを使用してディスプレイから「OK」を選択し、「OK」センサーを押します。

該当するユーザープロフィールのメニューがディスプレイに表示されます。

このメニューを閉じるには、以下の操作を行います。

■ 矢印センサーを使用して「**戻る**」を選択し、「OK」センサーを押します。

入力内容を保存しない

入力内容を保存しない場合、以下の操作を行います。

■ 矢印センサーを使用して「**戻る**」を選択し、「OK」センサーを押します。

ユーザープロフィールの変更

「**変更**」オプションを選択し、「OK」センサーで選択を確定すると、変更したいユーザープロフィールを選択できるようになります。「OK」センサーを押して、ユーザープロフィールを変更します。

この後は、「ユーザープロフィールの設定」の手順に従ってください。

– 文字を削除するには、ごみ箱マークを選択します。

– 新しい文字を入力するには、文字を選択し、「OK」センサーで確定します。

– 新しい名称を保存するには、ディスプレイで「OK」を選択し、「OK」センサーを押します。

ユーザープロフィールの削除

ユーザープロフィールを完全に削除するには、以下の操作を行います。

■「**削除**」オプションを選択し、「OK」センサーで選択を確定します。

■ 矢印センサーを使用して、削除するユーザープロフィールを選択します。

■「OK」センサーを押します。

ユーザープロフィールの後にチェックマークが表示され、少し待つとそのユーザープロフィールが削除されます。

切換え

常に標準ユーザープロフィールに戻したり、設定したユーザープロフィールが引き続き使用されるようにプログラムすることができます。

使用するプロフィールを設定するには、以下の操作を行います。

■ いずれかの矢印センサーを使用して、「**切換え**」を選択します。

次に、以下のいずれかのオプションを選択できます。

手動

別のユーザープロフィールを選択するまで、現在選択しているユーザープロフィールが使用されます。

■ 矢印センサーを使用して「**手動**」を選択し、「OK」センサーを押します。

ユーザープロフィールの設定

標準設定

ドリンクを抽出するたびに、標準ユーザープロフィールに自動的に戻されます。

■ 矢印センサーを使用して「**標準設定**」を選択し、「OK」センサーを押します。

オンの状態で

本製品の電源をオンにするたびに、前回電源をオフにする前にどのユーザープロフィールが設定されていたかにかかわらず、標準ユーザープロフィールが自動的に選択されます。

■ 矢印センサーを使用して「**オンの状態で**」を選択し、「OK」センサーを押します。

現在選択されている設定にはチェックマークが付いています。

できあがりのコーヒーの風味は、コーヒーの種類、豆の挽き具合、および使用する水の量によって異なります。エスプレッソカップとコーヒーカップのサイズは一定ではありません。お好みの味とお使いのカップのサイズに適した量の水が使用されるよう、使用する水の量をプログラムできます。

この分量のプログラミング手順は、エスプレッソ、コーヒー、お湯に対して行ってください。

エスプレッソマークは、標準的なエスプレッソカップに合う、標準サイズのエスプレッソを抽出します。エスプレッソの水の量は、**約 30 ～ 75 ml** の間に設定できます。

コーヒーマークは、標準サイズのコーヒーカップに合うコーヒーを抽出します。コーヒーの水の量は、**約 30 ～ 175 ml** の間に設定できます。

分量をプログラムする方法には 2 通りあります。「OK」センサーを継続的に押す方法と「**設定**」オプションを使用する方法です。

エスプレッソとコーヒーは、プログラムされている分量に基づいて抽出されます。これは、**すべてのカプセルポケットとコーヒーの種類**について言えることです。分量をプログラムするときに選択したカプセルポケットまたはコーヒーの種類は関係ありません。

「OK」センサーによる分量のプログラミング

- プログラムする分量に適したカップをコーヒー抽出口の下に置きます。
- ドリンク選択センサーを使用して、抽出量を設定するドリンクの種類（エスプレッソ、コーヒー、またはお湯）を選択します。
- ディスプレイに「**水量設定**」と表示されるまで「OK」センサーを押します。
- カップにご希望の分量が注がれたら、もう一度「OK」センサーを押します。この量がメモリに保存されます。

これ以降、同じドリンクを選択するたびに、ここでプログラムした分量が抽出されます（どのコーヒーカプセルを選択していても同様です）。

最大量に達すると、抽出は自動的に止まります。その後、この量がこのドリンクに対して記録されます。

分量のプログラミング（1 杯分の量の設定）

「設定」による分量のプログラミング

■ プログラムする分量に適したカップをコーヒー抽出口の下に置きます。

■ 矢印センサーを使用して「**設定**」を選択し、「OK」センサーを押します。

■ 「**水量プログラミング**」が強調表示されるまで右矢印センサーを押し、「OK」センサーを押します。

ドリンクの種類（エスプレッソ、コーヒー、またはお湯）がディスプレイに表示されます。これらのドリンクは抽出量を設定できます。

■ 矢印センサーを使用してドリンクの種類を選択し、「OK」センサーを押します。

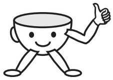
■ コーヒーまたはエスプレッソを選択した場合は、これから飲むコーヒーの種類を選択し、「OK」センサーを押します。(「OK」センサーが反応しない場合、その種類のカプセルポケットが空になっています)。

■ 「**スタート**」を選択します。

■ カップにご希望の分量が注がれたら、「OK」センサーを押します。

これで、選択したドリンクの 1 杯分の量が設定され、メモリに保存されます。これ以降、同じドリンクを選択するたびに、ここでプログラムした分量が抽出されます（どのコーヒーカプセルを選択していても同様です)。

ユーザープロフィール別の分量のプログラミング

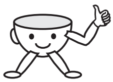


標準ユーザープロフィールのほかにも、9 種類のユーザープロフィールでお好みの1杯分の量をそれぞれ設定できます。

■ 矢印センサーを使用して「**ユーザープロフィール**」を選択し、「OK」センサーを押します。

■ 矢印センサーを使用して「**選択**」を選択し、「OK」センサーを押します。

■ 矢印センサーを使用して、1 杯分の量を設定するユーザープロフィールの名称を選択し、「OK」センサーを押します。



ディスプレイ上段のユーザープロフィールマーク の後に番号が表示されます。この番号は、選択されているユーザープロフィールを示します。

この後は、このセクションの冒頭の手順に従ってください。すべての設定と抽出量が、そのユーザーに適用されます。

バクテリアの繁殖を防ぐため、本製品は定期的にお手入れしてください。

おすすめのお手入れ時期	内容
1 度ミルクジャグを使用してから、1 時間以上経過した場合	ミルクジャグのフタを洗ってください。
毎日 （通常は 1 日の終わりに、電源をオフにする前に）	本製品のすすぎ
	ミルクジャグの洗浄
	水タンクの洗浄
	カラ受けコンテナの洗浄
	ドリップトレイの洗浄
	ドリップトレイカバーの洗浄
週に 1 度 （もしくは、汚れの程度に応じて週に 1 度以上）	抽出口カバーの洗浄
	カプセルマガジンとマガジン受けの洗浄
	ドア内側の小さいドリップトレイの洗浄
	本製品内部の洗浄
	スチームバルブの洗浄
	本製品正面の洗浄（特にカルキ除去直後）
月に 1 度	カプセルプレートの洗浄（洗浄剤を使用）
約 15,000 杯のコーヒーが抽出された後	カプセルホッパーの交換
水の硬度によって	カルキ除去

掃除とお手入れ

ミーレ製の掃除とお手入れ用製品を弊社販売店からご購入いただけます。

必ず本製品が冷めてから掃除をしてください。ドリップトレイ内の水は熱くなりますのでご注意ください。やけどする恐れがあります。

内部の掃除を開始する前に、本製品内側左上のマスタースイッチ（P.6 の「主電源」を参照）をオフにしてください。ケガをする恐れがあります。

カプセルプレート開口部の内部は掃除しないでください。
ケガをする恐れがあります。

本製品の掃除にはスチームクリーナーを使用しないでください。本製品に損傷を与えることがあります。

塩素系漂白剤、酸、ナトリウム化合物、研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。表面に傷が付くことがあります。

コーヒーが残っているとカビ臭くなるため、定期的に掃除することが大切です。

プラスチックグリルとカプセルプレートを除き、取り外し可能な部品は、すべて食器洗い機で洗浄できます。食器洗い機で部品を頻繁に洗浄すると、食器洗い機内でトマトなどの食べ物の残りかすと触れる機会が多くなるため、変色することがあります。

すすぎ

本製品の電源がオフになる前には、給湯管や抽出システム、スチームバルブなどが洗浄される必要があります。そのため、一杯でもコーヒーが抽出された後は、自動的にすすぎが行われます。適切な容器を、抽出口とスチームバルブの下に置いてください。



- 矢印センサーを使用して「**お手入れ**」を選択し、「OK」センサーを押します。
- 「**本製品のすすぎ**」を選択し「OK」を押します。

  抽出口から水が出ます。
- スチームバルブを開きます。

  スチームバルブから水が出ます。
- 数秒たってからスチームバルブを閉じます。

これでシステムの洗浄は完了しました。本製品の電源をオフにできます。

水タンク

水タンクは毎日使用後に空にし、使用する直前に、新鮮な冷たい水道水を入れてください。

- 水タンクは食器洗い機を使用して洗浄するか、少量の食器用台所洗剤を溶かしたお湯で手洗いします。
  洗浄後はよく乾かしてください。

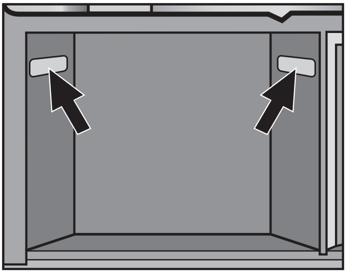
カラ受けコンテナ

カラ受けコンテナは毎日掃除してください。使用済みのカプセルが残っていると、カビ臭くなることがあります。

また、抽出およびすすぎ過程の残り水がカラ受けコンテナに溜まることがあります。

- カラ受けコンテナを持ち上げ、手前に引いて取り出します。

お湯と少量の食器用洗剤、または食器洗い機を使用してカラ受けコンテナを洗浄し、布で拭き取ります。



■ カラ受けコンテナの内部、特に右壁上部および左壁上部にある小さい窓（センサー）の周囲をていねいに掃除します。センサーは清潔に保ってください。センサーが汚れると、カラ受けコンテナがセットされていることや、カラ受けコンテナを空にする必要があることを認識できなくなります。

■ カラ受けコンテナを奥まで押し込んで、本製品にしっかりとセットします。
カラ受けコンテナを本製品に押し込むと、本製品側の左上部にあるレバーも後ろへ押されます。これにより、カラ受けコンテナが元に戻されたことが認識されます。カラ受けコンテナを押し込む際に少し抵抗がありますが、これは正常です。

ドリップトレイ

ドリップトレイにはセンサーが備わっており、ドリップトレイがいっぱいで空にする必要がある場合に、ディスプレイにメッセージが表示されるようになっています。このメッセージが表示されたら、トレイを取り出し、空にして掃除してください。
また、悪臭の発生を防ぐため、ドリップトレイは毎日掃除することをお奨めします。



すすぎの直後は、内部に残った水を受けるために、ドリップトレイはしばらくたってから取り外して掃除してください。水が非常に熱くなっている可能性がありますので、ドリップトレイを取り外す際は注意してください。やけどする恐れがあります。

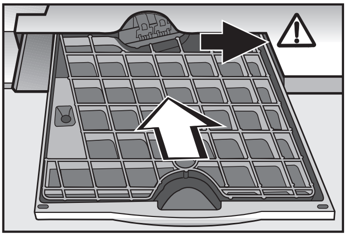
■ 本製品のドアを開きます。

■ 慎重にドリップトレイを引き出して取り外します。

ドリップトレイには格子状のグリッドが付いています。このグリッドは、運搬時にドリップトレイから水をこぼれにくくします。

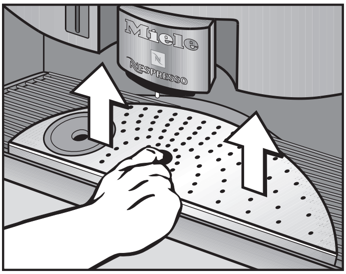
■ お湯と少量の食器用洗剤、または食器洗い機を使用してドリップトレイとグリッドを洗浄し、布で拭き取ります。

ドリップトレイの奥部にある**メタル接触ディスク**がきれいになり、完全に乾いていることを確認してください。本製品では、これらのメタルディスクを介して、ドリップトレイがいっぱいになっていることや、トレイがセットされていないことを感知します。ディスクが汚れていたり、ぬれていたりすると、メッセージが伝えられません。



- グリッドをセットしたドリップトレイを右側の縁に沿って本製品に押し込みます。
- ドアを閉じます。

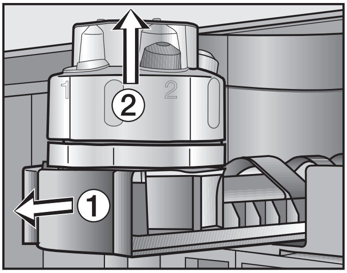
グリル付きドリップトレイカバー



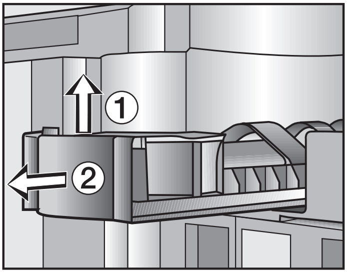
- グリルとドリップトレイカバーを取り出し、洗います。

プラスチックグリルは、必ず手洗いしてください。

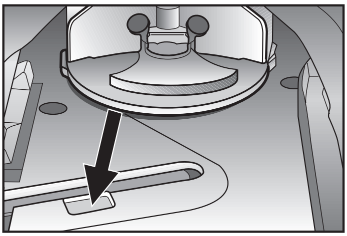
カプセルマガジンとマガジン受け



- マガジン受け①をいっぱいまで引き出します。
- カプセルマガジン②を引き上げて取り出します。



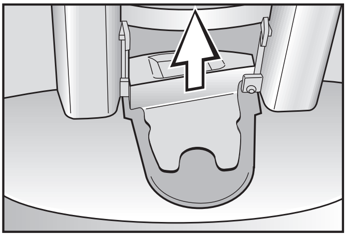
- マガジン受けの前の部分を少し持ち上げ①、完全に引き出します②。
- お湯と少量の食器用洗剤、または食器洗い機を使用して、カプセルマガジンとマガジン受けを洗浄し、布で拭き取ります。



- マガジン受けの下の部分も掃除します。特に、カプセルポケットや底のくぼみを認識するセンサーをきれいにしてください。すべてを柔らかい布で拭き取ります。
- マガジン受けを元に戻すには、ガイドレールの上に置き、カチッという音がして所定の位置に収まるまで押し込みます。
- カプセルマガジンをセットします。カプセルマガジンには特定の方向はありません。内部で所定の位置に自動的にセットされます。
- カプセルマガジンをセットしたマガジン受けを奥まで押し込んで、本製品にしっかりとセットします。

コーヒー抽出口のカバー

- 本製品のドアを開きます。

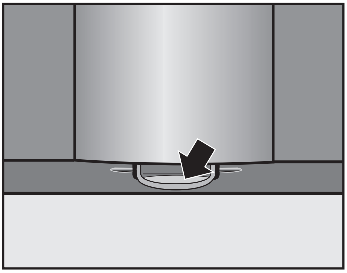


- 本製品前面の中央にあるカバーを押し上げます。
- お湯に溶かした少量の食器用洗剤、または食器洗い機を使用してカバーを洗浄し、乾かします。また、お湯に溶かした少量の食器用洗剤で本製品前面の内側を掃除し、乾かします。
- カバーをコーヒー抽出口に押し戻します。カバーが抽出口に正しく取り付けられていることを確認してください。

内部と本製品のドア

> ⚠ 本製品内側左上のマスタースイッチ（主電源）をオフにしてください。ケガをする恐れがあります。

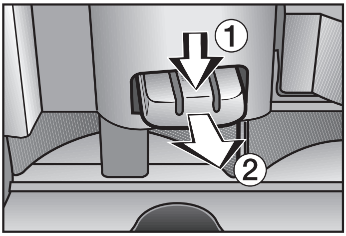
- 取り外し可能なすべての部品を取り外してから、お湯に溶かした少量の食器用洗剤で内部を掃除します。
- また、ドア内部の下の部分にある小さいドリップトレイを十分に掃除します。



掃除とお手入れ

カプセルプレート

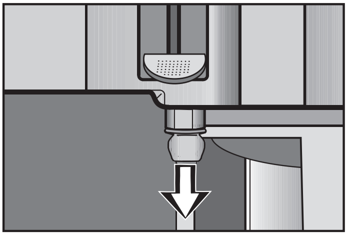
カプセルプレートの汚れ具合は、お使いになるコーヒーに含まれる脂肪含有量によって変わります。カルキを除去するときは、付属の洗浄錠剤を使用して、カプセルプレートも一緒に洗浄してください。また、必要に応じてより頻繁に洗浄してください。この際、必ず正しい錠剤（直径約 1 cm、10 個セット）を使用してください。洗浄錠剤は、弊社販売店またはネスプレッソでご購入いただけます。



- 溝のある中央部①を押し下げ、カプセルプレート②を手前に引いて取り出します。
- 小さい容器にお湯を入れ、洗浄錠剤（直径約1 cm、10個セット）を1つ溶かします。
- 洗浄液にカプセルプレートを浸し、約1時間そのままにしておきます。
- コーヒーの汚れが取れたら、よくすすぎ、乾かします。
- カプセルプレートを本製品に押し戻します。カチッという音がして所定の位置に収まるまで、しっかりとセットしてください。

スチームバルブ

スチームバルブとミルク泡立て器を接続する小さいゴム製スリーブは、取り外して掃除できます。スリーブおよびスリーブの下のスチームバルブの先端部も定期的に洗浄してください。



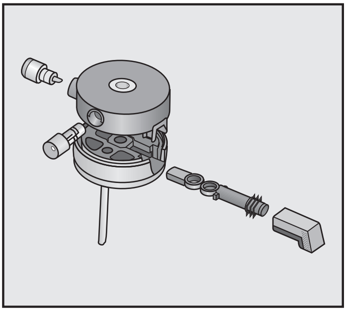
- スチームバルブを押し下げて、ゴム製スリーブを下向きに引き抜きます。
- お湯に溶かした少量の食器用洗剤を使って、ゴム製スリーブとスチームバルブの先端部を洗浄します。
- 両方を乾かして、スリーブをスチームバルブの先端に取り付けます。スリーブがスチームバルブの先端にしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- スチームバルブを上向きに押し戻します。

スチームバルブを元の位置に押し上げるのを忘れると、本製品前面を閉じたときに壊れることがあります。

ミルクジャグ（ミルク泡立て器）

ミルクジャグを正しく掃除するには、各部品に分解します。各部品を十分に掃除することが特に大切です。部品が汚れていると、泡がうまく立たなくなったり、まったく立たなくなります。ミルクジャグの洗浄には食器洗い機を使用することをお奨めします。すべての部品を食器洗い機で洗浄できます。

■ ミルクジャグのふたを分解し、すべての部品を洗浄します。ダイヤルは、小さい点がホットミルクとスチームのマークの間にセットされている場合にのみ引き出すことができます。



■ 図を参照し、ふたの部品を組み立て直します。ダイヤルを正しく取り付けるには、ダイヤル上の小さい点を右上にしてセットする必要があります。

すべての部品が正しく組み立てられ、ふたの2部品間にすき間ができていないことを確認してください。

また、組み立て後のふたをミルクジャグに正しく取り付けてください。ダイヤルがミルクジャグの取っ手の上に来るよう、正しくセットする必要があります。セットのしかたを誤ると、ミルクジャグは正しく動作しません。

本製品前面

汚れはすぐに拭き取ってください。放置しておくと、表面が変形または変色する可能性があります。

■ 本製品の前面は、お湯に溶かした食器用洗剤を湿らせた布またはきれいなスポンジにつけて掃除します。掃除が終わったら、柔らかい布で拭き取ります。

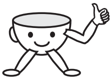
水がディスプレイの裏側に入り込まないようにしてください。

本製品の外面は、傷つきやすい材質でできています。ガラス表面についた傷は破損原因にもなりますので注意してください。
不適切な洗浄剤に触れると、外面が変色することもあります。

カルキ除去剤がこぼれたり飛び散った場合は、すぐに拭き取ってください。

前面の材質を問わず、次の洗剤は使用しないでください。

– ナトリウム化合物、アンモニア、酸、塩素系漂白剤を含む洗剤
– 溶剤型の洗剤
– カルキ除去剤を含む洗剤
– ステンレス用の洗剤
– 食器洗い機用の洗剤
– 研磨剤入りの洗剤（磨き粉、クリームクレンザーなど）
– 硬い研磨剤入りスポンジ（なべ磨き用スポンジ、ブラシ、以前使用した研磨剤が残っているスポンジなど）
– 尖った金属べら



ステンレス用品質改良剤を使用すると、汚れを防ぐことができます。パッケージに記載の製造元の指示に従ってください。

メンテナンス

抽出ユニット内のカプセルホッパーは、コーヒー約 15,000 杯ごとに交換する必要があります。交換用のカプセルホッパーは、弊社販売店からご購入いただけます。

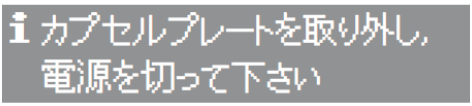


■ 矢印センサーを使用して「**設定**」を選択し、「OK」センサーを押します。

■ 矢印センサーを使用して「**メンテナンス**」を選択し、「OK」センサーを押します。

■ 矢印センサーを使用して「**実行**」を選択し、「OK」センサーを押します。

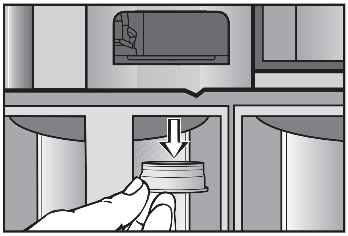
本製品内のカプセルホッパーが下がります。その後、ディスプレイに次のように表示されます。



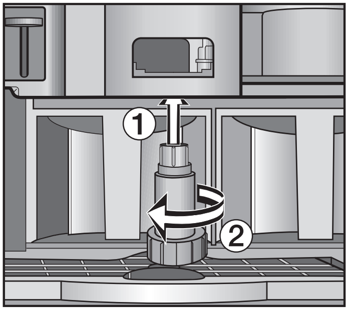
■ 本製品のドアを開きます。

■ カプセルプレートを取り出します。

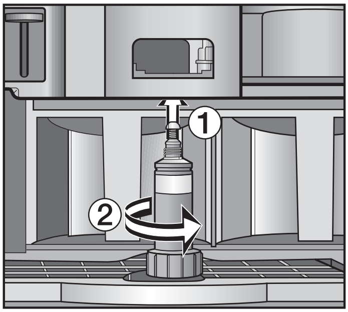
> ⚠ **抽出ユニット内の開口部には手を入れないでください。ケガの恐れがあります。**



■ ゴム製コネクターを下向きに引き抜きます。



■ 上図のように、専用用具（付属品）を使用して、カプセルホッパーを左に回して取り外します。



■ 上図のように、新しいカプセルホッパーを抽出ユニット内の所定の位置に右に回して取り付けます。カプセルホッパー内のボール付きバネは、ボールが上に来るように取り付ける必要があります。

- ゴム製コネクターを下側から元の場所に取り付けます（先が細いほう（じょうご）を下に向けます）。
- カプセルプレートをセットし、本製品のドアを閉じます。

カルキを除去する

本製品を正しく動作させるため、定期的にカルキを除去してください。カルキ除去が必要になると、メッセージが表示されます。

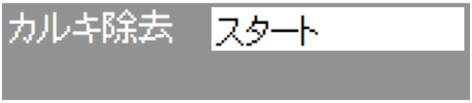
あと 50 杯入れたらカルキ除去が必要な段階になると、次のメッセージがディスプレイに表示されます。「**カルキ除去までの抽出可能杯数 : 50**」

このメッセージは、ドリンク（コーヒー、エスプレッソ、スチーム、お湯）を入れた後、毎回表示されます（カウントダウン形式）。

■ メッセージを確認したら、「OK」センサーを押します。

0 になるまで使用し続けると、本製品は機能を停止し、ディスプレイに「**カルキ除去 - スタート**」と表示されます。

カルキ除去プログラムを実行するまで、ドリンクを作ることはできません。



■「OK」センサーを押します。

カルキ除去には、カルキ除去剤と色付きのカルキ除去プレートが必要になります。

付属のカルキ除去剤以外は使用しないでください（必ず正しい錠剤（直径約 5 cm、6 個セット）を使用してください）。付属のカルキ除去剤は、このエスプレッソマシン専用に開発されており、弊社販売店からご購入いただけます。
他の種類のカルキ除去剤は、本製品を損傷し、また味にも影響を与えます。
本製品の損傷を防ぐため、パッケージの説明に必ず従ってください。
本製品前面の損傷を防ぐため、**こぼれたり飛び散ったカルキ除去剤**は必ずすぐに拭き取ってください。
カルキ除去プログラムを実行した後は**、カルキ除去剤が残らないよう、水タンクとドリップトレイを必ず掃除してください。**

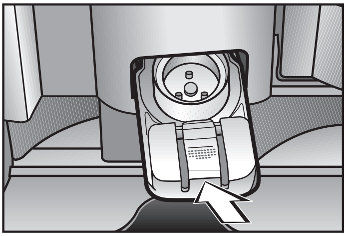
手順はすべてディスプレイに表示されます。ドリップトレイを空にする、水タンクに水を入れるなど、表示される指示に従ってください。

「OK」センサーを押した後は、**カルキ除去プログラムを取り消すことはできません。**プログラムは最後まで完了する必要があります。これは、本製品のカルキ除去を完全に行うための安全対策であり、本製品を長期間保護し、正しく動作させるために重要です。

■ ディスプレイに次のような作業を促すメッセージが表示されます。

– **水タンクにカルキ除去剤**を入れてください。水タンクを取り出し、マークの位置までぬるま湯を入れます（**この位置より水が少ない状態で実行しないでください**。カルキ除去プログラムが早期に終了し、正常に完了しません)。
水にカルキ除去剤（直径約 5 cm、6 個セット）を 2 つ入れます。錠剤が十分溶けてから、ふたを閉め、水タンクを本製品に戻します。

– **カラ受けコンテナ**に排水を集めてください。本製品からカラ受けコンテナを取り出し、抽出口とスチームバルブの下に来るように置きます。



– **カプセルプレートを取り出して、カルキ除去プレート（赤色）と交換してください**。本製品の前面を開いて、カプセルプレートを完全に引き出し、「掃除とお手入れ」の手順に従って掃除します。

カルキ除去プレート（赤色）を所定の位置にセットします。

– **バルブを開きます**。スチームバルブをカチッという音がするまで押し下げます。

カルキ除去の工程は、5 分ほどたってから開始されます。これは、カルキ除去剤を完全に溶かすために必要な時間です。本製品が十分冷めていない場合は、開始まで 5 分以上かかります。

カルキ除去工程中は、コーヒー抽出口とスチーム噴出口からお湯とカルキ除去剤の排出、停止が自動的に繰り返されます。開始時間になると、より多量のカルキ除去剤が排出され、またその他の処理が行われます。ディスプレイには、この手順の所要時間を示すメッセージが表示されます。

■ **水タンクに新鮮な水道水を入れる**ように促すメッセージがディスプレイに表示されたら、タンクを取り出し、きれいな水で十分にすすいでください。カルキ除去剤が完全に落ちたことを確認し、新鮮な水道水をマークまで入れます。
同時に、排水を受けた**カラ受けコンテナ**を空にします。

すすぎ処理中、コーヒー抽出口とスチーム噴出口から水が排出されます。すすぎの間、**ドリップトレイ**は数回**空にする**必要があります。

ディスプレイに**「プログラム終了」**が表示されます。

■ 「OK」センサーを押します。

カルキ除去プログラムが終了したら、本製品で再びドリンクを作ることができます。

カルキを除去する

メッセージで要求されないときのカルキ除去

メッセージで要求される前にカルキ除去を実行するには、以下の操作を行います。



- いずれかの矢印センサーを使用して、「**カルキ除去**」を選択します。
- 「OK」センサーを押して、カルキ除去プログラムを開始します。

電気器具の修理は、必ず地域および国の電気設備基準に厳密に従って、適任な有資格者が行わなければなりません。無資格者による修理などは危険です。正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は、保証対象外となります。

特定の問題を知らせるため、さまざまなメッセージがディスプレイに表示されます。問題の対処方法については、以下の説明を参照してください。

ここでは、弊社コールセンターにお問い合わせになる前に、軽度のトラブル（誤った操作によるものを含む）を解決するためのヒントを説明します。

こんなとき、どうしたらいい？

. . . 電源をオンにしても照明が点灯しない

■ 照明機能がオフになっていませんか？（「設定 - 照明」を参照）

■ 照明機能がオフになっていない場合は、照明に問題があります。弊社コールセンターまでお電話でお問い合わせください。

. . . ディスプレイにメッセージが表示されない

主電源が「0」の位置になっています。

■ 主電源を「Ｉ」の位置にします。

電源プラグが正しく差し込まれていません。

■ 電源プラグが正しく差し込まれているかチェックし、コンセントの電源を入れてください、

■ ヒューズに問題がなく、ブレーカーが落ちていないことを確認します。該当する場合は、弊社コールセンターにお問い合わせください。

. . . 電源が突然自動的に切れる

特定の時間使用されないと、電源は自動的に切れます。この時間は、**プログラムされている自動電源オフの時間**によって異なります。

■ 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていることを確認します。

. . . 照明が突然自動的に消える

15 分間使用されないと、照明は自動的に消えます（「設定 - 照明」を参照）。

. . . タイマーの「指定時刻にオン」設定が有効になっているのに電源がオンにならない

システムロックが有効になっています。

. . . ディスプレイが読めない

設置場所が低すぎると、ディスプレイが見づらくなることがあります。

■ ディスプレイのコントラストまたは明るさを調整すると改善されることがあります。

. . . ドアを開いたり、閉じたりできない

スチームバルブが上の位置に戻されていません。

■ いったんバルブを完全に下まで押し下げた後、上方向にいっぱいまで押し上げます。

. . . 時刻をリセットする必要がある

マスタースイッチ（主電源）で電源を切ったり、コンセントからプラグを抜いた場合、時刻をリセットする必要があります。指定時刻にオン/オフされるようプログラムされている時刻はメモリに残っているため、リセットする必要はありません。

. . . コーヒーカプセルをカプセルマガジンにセットし、水タンクに水を十分入れているのに、ドリンクが抽出されない

■ 水タンクを取り外し、セットし直します。

. . . カプセルマガジンがいっぱいで、水タンクに水を十分入れているのに、コーヒーが抽出されない

カプセルマガジン内でコーヒーカプセルが詰まっています。

■ 本製品のドアを開きます。

■ マガジン受けを引き出し、カプセルマガジンを上方へ持ち上げて、コーヒーカプセルがスムーズに動くように直します。

■ カプセルマガジンをマガジン受けに戻し、マガジン受けを奥まで押し込んで、本製品にしっかりとセットします。

■ ドアを閉じます。

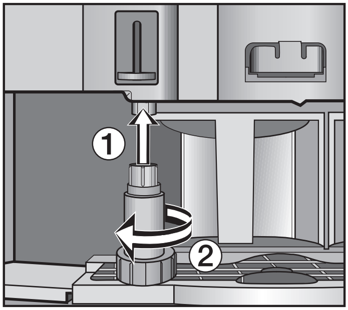
. . . スチーム / お湯の抽出口から水が出ない

■ 水タンクを取り外し、セットし直します。

それでもバルブから水がまったく出なかったり、少ししか出ない場合は、スチームバルブが詰まっています。

■ 本製品のドアを開きます。

■ スチームバルブをもう一度押し下げて、ゴム製スリーブを引き抜きます。



■ カプセルホッパーを取り外すための専用用具の小端側で、スチームバルブの先端を外します。

■ きれいに洗浄し、元の位置にセットします。

. . . スチームからゴム臭がする

本製品が新しい間は、ゴム臭がします。時間がたつと消えます。

. . . ミルクジャグ（ミルク泡立て器）から泡が出ない

■ ミルクジャグでミルクが泡立てられるように泡抽出口が引き出されていることを確認します。

■ ふたのダイヤルと抽出口の位置が正しいことを確認します（「掃除とお手入れ」を参照）。

■ ミルクジャグの部品が詰まっていないことを確認します。

. . . コーヒーの抽出が中断される

- ダブルエスプレッソまたはダブルコーヒーを選びましたか？

  2 杯分を入れるには、カプセルが 2 つ必要です。ポケットにカプセルが 1 つしか残っていない場合、2 杯目のコーヒーは抽出されません。

. . . コーヒーにコーヒーの残り殻が混じる

- カプセルプレートを洗浄する必要があります。

. . . ドリップトレイが空なのに、空にするように促すメッセージが表示される

- 接触点をきれいに掃除し、乾かしましたか？
- ドリップトレイは本製品の正しい位置にセットされていますか？
- マスタースイッチ（主電源）をいったんオフにし、もう一度オンにします。
- 目の細かい紙やすりまたはエメリー布などで接触点を少し磨きます。
- このエラーメッセージが引き続き表示される場合は、弊社コールセンターまでお電話でお問い合わせください。

. . . 本製品の電源をオンにしたときにすすぎが実行されない

本製品の温度が 60°C 以上の場合、すすぎは実行されません。

. . . 抽出水量の設定中に、水が止まる

最大充填量に達すると、抽出は自動的に止まります。最大量はメモリに保存されています。

水タンクの水の量が足りません。前に使用された量は、メモリに保存されませんでした。

. . . コーヒーの抽出時間と最大抽出量がかなり異なる

コーヒーの挽き具合は、コーヒーの種類によって異なります。抽出時には、同じ種類のコーヒーでも挽き具合が異なるものが使用されることがあります。このため、抽出時間と最大抽出量が変わることがあります。

. . . エスプレッソまたはコーヒーがぬるい

- カップを前もって温めましたか？
  カップが小さくて厚いほど、前もって温めることが大切です。

. . . コーヒーが薄い

- コーヒーに対して設定されている水の量が多すぎないことを確認します。
- これまで入れたコーヒーの杯数を確認します。

  水の量が適切で、入れたコーヒーの杯数が 15,000 杯に達している場合、抽出ユニット内のカプセルホッパーを交換する必要があります。「掃除とお手入れ : メンテナンス」を参照してください。

. . . カラ受けコンテナに水が溜まっている

これは故障ではありません。この水は、抽出および洗浄処理から排出されたものです。

. . . カラ受けコンテナに「コーヒー液」が残っている

カプセルプレートが奥まで正しくセットされていません。

- カプセルプレートを取り外し、入れ直します。

こんなとき、どうしたらいい？

...カルキ除去プログラムを誤って開始した

「OK」センサーを押した後は、カルキ除去プログラムを取り消すことはできません。プログラムは最後まで完了する必要があります。これは、本製品のカルキ除去を完全に行うための安全対策であり、本製品を長期間保護し、正しく動作させるために重要です。

...加熱にかかる時間が長くなり、供給される水の量が不正確で、正しく機能していない

カルキを除去する必要があります。

...エラーメッセージ「水タンクを確実に奥まで入れて下さい」が表示される

水が取り込まれていません。

- 最初のドリンクを作る前に、システムに水が入っていなかった可能性があります。「コーヒーを作る : 最初のドリンクを作る前に - システムに水を入れる」の手順に従って、システムに水を入れます。
- 水タンクが本製品の所定の位置に正しくセットされていなかった可能性があります。水タンクを取り出し、もう一度所定の位置に戻します。奥までしっかりとセットされていることを確認してください。
- カルキ除去のときに水タンクに水が入っていない場合にも、このエラーメッセージが表示されます。水タンクにマークの位置まで水を入れ、もう一度カルキ除去工程を開始してください。
- このエラーメッセージがディスプレイに引き続き表示される場合は、弊社コールセンターまでお電話でお問い合わせください。その際、エラーコードをお知らせください。

...エラーメッセージ F1 から F4、F80 から F83 が表示される

- 電源をオフにし、1 時間ほど時間をおいてからもう一度電源を入れます。

再度エラーメッセージが表示されるようであれば、弊社コールセンターまでお問い合わせください。

...「カプセルマガジンをチェックしてください」というメッセージが表示される

カプセルマガジンが適切に作動していません。

- 本製品の前面を開きます。
- カプセルマガジンをマガジン受けから外し、カプセルがマガジン内に適切に収まっているか確認します。
- 正しくカプセルをセットしてからマガジン受けに戻します。
- ドアを閉めます。

再度エラーメッセージが表示されるようであれば、弊社コールセンターまでお問い合わせください。

. . . エラーメッセージ F72 が表示される

コーヒーカプセルが、カプセルマガジンとカプセルプレートの間で詰まっています。

■ 本製品の前面を開きます。

> **本製品内側の左上にあるマスタースイッチ（主電源）を押し、電源をオフにします。**

■ マガジン受けを引き出せるか試します。

マガジン受けを引き出せる場合、コーヒーカプセルを取り除き、廃棄します。このカプセルには損傷やへこみがある可能性があり、再び詰まると考えられるので使用しないでください。

■ マガジン受けの下の部分を掃除します。特に、カプセルポケットや底のくぼみを認識するセンサーをきれいにしてください。すべてを柔らかい布で拭き取ります。

■ マガジン受けを押し込んで、本製品にしっかりとセットします。

■ マスタースイッチ（主電源）で再び電源をオンにします。

■ 本製品の前面を閉めます。

マガジン受けを引き出せない場合、以下の操作を行います。

■ カプセルプレートを取り外します。

■ 抽出部分でカプセルを探し、取り除きます。このコーヒーカプセルは必ず廃棄してください。損傷やへこみがある可能性があり、再び詰まると考えられるので使用しないでください。

■ カプセルプレートを元の位置に押し込みます。

■ マスタースイッチ（主電源）で再び電源をオンにします。

■ 本製品の前面を閉め、ディスプレイに表示される指示に従ってください。

このメッセージが引き続き表示される場合、またはカプセルを取り除けない場合は、弊社コールセンターまでお電話でお問い合わせください。

. . . エラーメッセージ F75 が表示される

カラ受けコンテナ内部のセンサーが汚れています。

■ カラ受けコンテナを取り外し、右壁上部および左壁上部にあるセンサー（小さい窓）に特に注意しながら内部を掃除します。

■ 本製品にカラ受けコンテナを再び取り付けます。

コーヒーカプセルがカプセルプレートの上に正しくセットされていません。

■ 本製品のマガジン受けを引き出します。

■ マガジン受けの下をきれいに拭きます。特にカラ受けコンテナ内両サイドにあるセンサーを乾いた布で拭くことは、誤作動を防ぐために重要です。

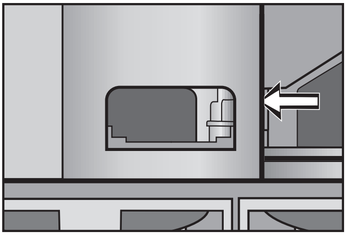
■ 本製品にすべてを再び取り付けます。

コーヒーカプセルがカプセルプレートの上に置かれています。

■ 本製品の前面を開きます。

> **本製品内側の左上にあるマスタースイッチ（主電源）を押し、電源をオフにします。**

■ 本製品のマガジン受けを引き出します。



■ カプセルプレートのすき間の右側に開口部があります。コーヒーカプセルがカプセルプレートの上に置かれていることを確認してください。

■ コーヒーカプセルを指で押し込んで、カラ受けコンテナに入れます。

■ マスタースイッチ（主電源）で再び電源をオンにします。

■ 本製品の前面を閉め、ディスプレイに表示される指示に従ってください。

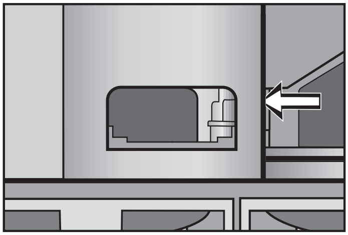
. . . エラーメッセージ F76 が表示される

コーヒーカプセルがカプセルプレートに正しくセットされておらず、損傷している可能性があります。

■ 本製品の前面を開きます。

> **!** 本製品内側の左上にある**マスタースイッチ（主電源）**を押し、**電源をオフにします。**

■ 本製品のマガジン受けを引き出します。



■ カプセルプレートのすき間の右側に開口部があります。コーヒーカプセルがこの部分に詰まっていないか確認してください。

■ コーヒーカプセルを指で押し込んで、カラ受けコンテナに入れます。

■ マスタースイッチ（主電源）で再び電源をオンにします。

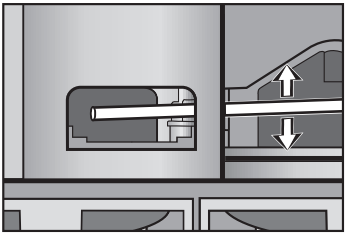
■ 本製品の前面を閉め、右側のディスプレイに表示される指示に従ってください。

抽出ユニットにカプセルが詰まっていて、カプセルプレートの上にコーヒーカプセルが見えません。

■ 本製品の前面を開きます。

> **!** 本製品内側の左上にある**マスタースイッチ（主電源）**を押し、**電源をオフにします。**

■ マガジン受けとカプセルプレートを本製品から取り外します。



■ 抽出ユニットの上部分からコーヒーカプセルを取り除きます。これを行う場合は、必ず木製のスプーンの柄などを使用してください。

■ カプセルプレート、マガジン受け、カプセルマガジンを本製品にセットし直します。

■ マスタースイッチ（主電源）で再び電源をオンにします。

■ 本製品の前面を閉め、右側のディスプレイに表示される指示に従ってください。

このエラーメッセージがディスプレイに引き続き表示される場合は、弊社コールセンターまでお電話でお問い合わせください。

. . . エラーメッセージ F73、F74、F77 が表示される

■ ディスプレイに表示される指示に従ってください。

■ 本製品の電源をオフにし、再び電源をオンにします。

このエラーメッセージがディスプレイに引き続き表示される場合は、弊社コールセンターまでお電話でお問い合わせください。その際、エラーコードをお知らせください。

アフターサービス、型式表示シール

故障が生じた場合や、本製品が保証期間中の場合は、下記にお問い合わせください。

－　ミーレ販売代理店

－　ミーレ・ジャパンのコールセンター（裏表紙を参照）

コールセンターにお問い合わせになる場合、型式表示シールに記載された、ご使用製品の型番と製造番号をお知らせください。

電源接続

電気配線等の作業は、すべて厳正に国および地域の電気設備基準にしたがって適任な有資格者が行わなければなりません。

無資格者による設置、修理、その他の工事は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。

設置または修理作業が完了するまで、本製品の電源を切ってあることを確認してください。

本製品は必ず正しく設置してから使用してください。すべての電気部品を確実に遮へいするには正しく設置する必要があります。充電部は露出させないでください。

本製品を延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。

電圧、定格消費電力、アンペア数については、型式表示シールに記載してあります。これらの数値が屋内の主電源に一致していることを確認してください。

本製品の接続は、必ず電気設備基準に合ったブレーカーを経由して行ってください。

＜重要＞

単相100V専用コンセントコードにて納品されます。

コンセントの形状を確認の上、確実に接続してください。

＜警告＞

本製品は、必ず接地（アース）してください。

＜重要＞

本製品の電気的安全性は、電気設備基準に合った有効な接地を行って初めて約束できます。この基本的な安全基準を電気工事士がテストすることはとても重要なことです。感電などの不十分な接地の結果に対する製造者責任は負いかねます。

直接的または間接的に、不正な設置や接続が行われた場合の被害・損害に対しては、いずれの場合も製造者責任を負いかねます。

メモ

愛情点検

長年ご使用のエスプレッソマシンの点検を!

ご使用の際、
このようなことはありませんか

- ●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
- ●運転中に異常な音や振動がする
- ●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
- ●こげくさい臭いがする
- ●さわるとビリビリ電気を感じる
- ●その他の異常や故障がある

▼

● 使用を中止してください ●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

コールセンター　0120-310-229 ユーザー専用・月一土　9:00-18:00(通話料無料・祝日除く)

〒153-0063　東京都目黒区目黒2-10-11 目黒山手プレイス9F

www.miele.co.jp

M.-Nr. 07 477 280 / 02

ja-JP